



Netcommunity SYSTEM X7000

取扱説明書【応用編】

目次

応用編 (CD-ROM) の目次

1 電話機機能一覧

| | |
|------------------------|----|
| 電話機能一覧 | 4 |
| 発信 | 4 |
| 着信・応答 | 6 |
| 通話 | 8 |
| 保留・転送 | 9 |
| 表示 | 10 |
| ドアホン | 11 |
| ファクス | 12 |
| ネットワークサービス(INSネット64回線) | 12 |
| その他 | 13 |

2 IP多機能電話機の設定を行う

| | |
|--------------------|----|
| IP多機能電話機設定メニュー一覧 | 14 |
| ご利用者が自分の電話機設定をする | 14 |
| IP多機能電話機 設定メニュー一覧① | 14 |
| IP多機能電話機 設定メニュー一覧② | 16 |

3 電話機能の設定を行う

| | |
|---------------------|----|
| 電話の詳細設定一覧 | 17 |
| データ設定のメニュー | 17 |
| ご利用者が自分の電話機設定をする | 18 |
| 電話機動作の設定(ユーザ・電話機設定) | 18 |
| ログインパスワード変更設定 | 22 |
| 管理者が電話機設定をする | 23 |
| 状態表示名設定 | 23 |
| 保留音設定 | 24 |
| モード切替設定 | 25 |
| オートコールバック対象電話番号設定 | 27 |
| 発信許可番号設定 | 28 |
| 発信規制番号設定 | 29 |
| 削除ダイヤル設定 | 30 |
| 事業者識別番号自動付与設定 | 31 |

4 ルータ機能の設定を行う

| | |
|--------------------|----|
| ルータ機能一覧 | 32 |
| ルータ機能一覧 | 32 |
| ルータ設定をする | 33 |
| 日付と時刻の設定 | 33 |
| LAN設定 | 35 |
| WAN接続設定(プロバイダエントリ) | 40 |
| DNS設定 | 44 |
| NATとIPマスカレード設定 | 47 |
| ルーティング設定 | 51 |
| IPパケットフィルタリング設定 | 55 |
| HTTPサービスの利用ホスト制限設定 | 58 |
| FTPサービスの利用ホスト制限設定 | 60 |
| UPnP設定 | 62 |
| メール通知設定 | 63 |

5 主装置の運用

| | |
|--------------------------|----|
| 主装置の運用方法について | 65 |
| 運用時に利用できる操作 | 65 |
| 主装置情報 | 66 |
| 手動アップロード | 67 |
| 設定データ一覧 | 68 |
| 管理者アカウント設定 | 69 |
| システムデータバックアップ/リストア | 70 |
| 主装置を再起動するには | 72 |
| リモートメンテナンス | 73 |
| ログ表示: 主装置動作ログ表示 | 74 |
| ログ表示: IP電話ログ表示 | 75 |
| マニュアル操作: IP電話接続・切断 | 76 |
| PINGを行うには | 77 |
| PPPoEマニュアル接続を行うには | 78 |
| レポート表示を行うには | 79 |
| ルータ設定一覧表示を行うには | 83 |
| 無線アクセスポイント/無線ステーションの接続状況 | 84 |
| AP/STA一覧表示を行うには | 84 |

6 ご参考に

| | |
|---------------------------------|-----|
| リモートメンテナンスサービスについて | 85 |
| サービス内容 | 85 |
| パソコンの設定 | 86 |
| Windows® 2000/Windows® Me | 86 |
| Macintosh | 96 |
| 用語の説明（総合編） | 99 |
| 数字 | 99 |
| アルファベット | 99 |
| 五十音 | 101 |
| 索引 | 104 |
| アルファベット | 104 |
| 五十音 | 104 |

| | |
|--|-----|
| 搭載されているソフトウェアの 著作権と使用許諾に関する情報 | 106 |
|--|-----|

■ 発信

| 名称 | IP 多機能 電話機 | 単体 電話機 | SIP 端末 | デジタル コードレス | 機能概要 | 関連項目 | |
|----------------|------------------|-----------|-----------|---------------|---|---|----------|
| | | | | | | ◎：主装置関連設定データ (管理者) ○：主装置関連設定データ (ユーザ・管理者共通) ●：IP多機能電話機登録データ | 工事 設定 |
| 個別形外線発信 | ○ | — | — | — | 外線ボタンを押すことにより、そのボタンに割り付けられた外線を捕捉して発信できる機能 | なし | * |
| PBX形外線発信 | ○ | ○ | ○ | ○ | 特番＋相手電話番号をダイヤルすることにより、外線を捕捉して発信できる機能 | なし | * |
| 索線形外線捕捉 | ○ | — | — | — | 外線ボタンを押すことでグループ内の空き回線を捕捉し、発信できる機能 | なし | * |
| 外線群指定捕捉 | ○ | ○ | ○ | ○ | 内線捕捉状態で外線群捕捉特番＋相手先番号をダイヤルし発信した場合、外線群捕捉特番に対応した索線グループから空き回線を捕捉して発信できる機能 | なし | * |
| 内線個別信号呼出 | ○ | ○ | ○ | ○ | 内線番号をダイヤルすることにより、電話機を信号で呼び出す機能 | ○ 内線呼出設定 (電話機動作設定) | |
| 内線個別音声呼出 | ○ | — | — | — | 内線番号をダイヤルすることにより、電話機を音声で呼び出す機能 | ○ 内線呼出設定 (電話機動作設定) | |
| 信号／音声呼出切替 | ○ | — | — | — | 内線電話機を呼び出しているとき、特番をダイヤルすることにより、信号呼出と音声呼出を交互に切り替えることができる機能 | ○ 内線呼出設定 (電話機動作設定) | * |
| 内線グループ音声呼出 | ○ | — | — | — | 特番をダイヤルすることにより、空き状態の全内線電話機を一斉に音声で呼び出せる機能 | ○ フレキシブルボタン設定 ● ワンタッチ登録 | * |
| 内線ホットライン | ○ | — | — | — | 設定した内線電話機をワンタッチで呼び出したり、その内線電話機の状態をランプで表示する機能 | ○ フレキシブルボタン設定 | |
| オフフック外線自動捕捉 | ○ | ○ | — | ○ | ハンドセットを取りあげる、またはスピーカボタンを押すことで、外線を自動捕捉できる機能 | ○ オフフック自動外線捕捉 | * |
| オンフック発信 | ○ | — | — | — | スピーカボタンを押すことにより、ハンドセットを置いたまま発信できる機能 | なし | |
| ワンタッチオンフックダイヤル | ○ | — | — | — | ハンドセットを置いたまま、外線ボタンまたは内線ボタンを押してダイヤルする機能 | ○ フレキシブルボタン設定 ● ワンタッチ登録 | |
| プリセットダイヤル | ○ | — | — | — | ダイヤル番号を表示したあとで、外線などを捕捉し発信できる機能 | なし | |
| 追加ダイヤル | ○ | — | — | — | マニュアルダイヤルですすで入力されているダイヤルの後にダイヤルを追加することができる機能 | なし | |
| 再ダイヤル | ○ | — | — | — | 外線発信時に自動的に記録されたダイヤル番号から選んで外線発信することができる機能（10回前の発信まで記録されます） | なし | |

| 名称 | IP 多機能 電話機 | 単体 電話機 | SIP 端末 | デジタル コードレス | 機能概要 | 関連項目 | |
|--------------------|------------------|-----------|-----------|---------------|--|---|----------|
| | | | | | | ◎：主装置関連設定データ (管理者) ○：主装置関連設定データ (ユーザ・管理者共通) ●：IP多機能電話機登録データ | 工事 設定 |
| 着信履歴発信 | ○ | — | — | — | 着信履歴を利用して発信できる機能 | なし | |
| ワンタッチ ダイヤル | ○ | — | — | — | ワンタッチボタンを押すだけで、 外線にダイヤルするなど、登録 してある操作を自動的に行うこ とができる機能 | ○ フレキシブルボタン設定 ● ワンタッチ登録 | |
| 共通電話帳 | ○ | — | — | — | 登録してある共通電話帳をすべ てのIP多機能電話機で利用する ことができる機能 | ◎ 共通電話帳設定 | |
| 個人電話帳 | ○ | — | — | — | 電話機ごとに、個別に登録され た電話帳を利用することができる 機能 | ● 電話帳新規登録 ● グループ名編集 ○ 電話帳の新規登録 ○ 電話帳グループ名設定 | |
| 発信対地規制 | ○ | ○ | ○ | ○ | 規制あるいは許可したいダイヤ ル番号を登録しておくことによ り、外線発信を規制することが できる機能 | ◎ サービスクラス (電話機動作設定) ◎ 発信許可番号設定 ◎ 発信規制番号設定 ◎ 削除ダイヤル設定 ◎ モード切替設定 ● ワンタッチ登録 (管理者IP多機能電話機のみ) | |
| 発信時発番号通知 | ○ | ○ | ○ | ○ | 外線発信する際、電話番号を相 手に通知する機能 | ○ 発信者番号通知 (電話機動作設定) ○ 発信者番号登録 (電話機動作設定) | * |
| 赤外線電話帳発 信 | ○ | — | — | — | 携帯電話機の電話帳データを赤 外線でIP多機能電話機に転送し、 その番号情報で発信できる機能 | ○ フレキシブルボタン設定 ● ワンタッチ登録 | |
| IP電話サービス迂 回発信機能 | ○ | ○ | ○ | ○ | IP電話サービスに発信し、IP電 話サービスからの応答内容によ り、INSネット64回線や一般加 入電話回線で発信する機能 | なし | * |
| 事業者識別 番号自動付与 | ○ | ○※1 | ○ | ○ | INSネット64回線、および、一 般加入電話回線を利用して、 080または090で始まる番号 をダイヤルしたとき、事業者識 別番号を自動的に付与して発信 する機能 | ◎ なし | * |

*：特別な工事が必要となります。工事をご依頼ください。

※1：単体電話機が一般加入電話回線を利用した場合には、自動付与されません。

■ 着信・応答

| 名称 | IP 多機能 電話機 | 単体 電話機 | SIP 端末 | デジタル コードレス | 機能概要 | 関連項目 | |
|-------------------|------------------|-----------|-----------|---------------|---|---|----------|
| | | | | | | ◎：主装置関連設定データ (管理者) ○：主装置関連設定データ (ユーザ・管理者共通) ●：IP多機能電話機登録データ | 工事 設定 |
| 外線着信方式 | ○ | ○ | ○ | ○ | 全着信、発番号ダイヤルイン、着番号ダイヤルイン、着サブアドレスダイヤルイン、i・ナンバー着信、モデムダイヤルインをモード別に設定できる機能 | ◎ モード切替設定 ● ワンタッチ登録 (管理者IP多機能電話機のみ) | * |
| 全着信 | ○ | ○ | — | — | 複数の電話機に対して着信を表示できる機能 | なし | * |
| 着番号 ダイヤルイン | ○ | ○ | ○ | ○ | 着信したときに通知されるダイヤルイン番号により、着信させる電話機を指定できる機能 | なし | * |
| 着サブアドレス ダイヤルイン | ○ | ○ | ○ | ○ | INSネット64回線から通知される着サブアドレスにより、着信させる電話機を指定できる機能 | ○ 着サブアドレスダイヤルイン (電話機動作設定) | |
| 発番号 ダイヤルイン | ○ | ○ | ○ | ○ | 着信したときに通知される発信者番号により、着信させる電話機を指定できる機能 | なし | * |
| i・ナンバー着信 | ○ | ○ | ○ | ○ | INSネット64回線から通知されるi・ナンバー情報により、着信させる電話機を指定できる機能 | なし | * |
| モデムダイヤル イン | ○ | ○ | ○ | ○ | 一般加入電話回線からのダイヤルイン番号着信ができる機能 | なし | * |
| 緊急番号着信 | ○ | ○ | — | — | 発番号が緊急番号(「110」「118」および「119」)の着信の場合その回線を割り付けた電話機すべてを呼び出しする機能 | なし | * |
| 話中着信 | ○ | — | — | — | 外線／内線通信中に内線からの着信を表示する機能 | なし | * |
| 任意回線応答 | ○ | — | — | — | 着信時、点滅している外線ボタンを押すことでその着信に応答できる機能 | なし | * |
| 着信自動応答 | ○ | ○ | — | ○ | 着信音が鳴っている電話機で、ハンドセットを取りあげる、またはスピーカボタンを押すだけでその着信に応答できる機能 | なし | * |
| 代理応答 | ○ | ○ | — | ○ | ほかの電話機へかかってきた着信に、代わりに応答できる機能 | ● ワンタッチ登録 ○ フレキシブルボタン設定 | * |
| 着信音識別 | ○ | ○ | — | — | 着信種別に応じた着信音を鳴動させ識別できる機能 | なし | * |
| 着信音量調節 | ○ | — | — | — | 電話機の着信音量を段階的に調整できる機能 | なし | * |
| 不在着信転送 | ○ | — | — | — | 電話機の操作により、着信を一時的に別の電話機に転送できる機能 | ○ ユーザ状態別転送設定 ● 不在着信転送設定 ● ワンタッチ登録 | |
| 内線ハンズフリー | ○ | — | — | — | マイクボタンを押してマイクランプを点灯しておくことにより、音声呼出に対してハンドセットを取りあげずに音声で応答できる機能 | なし | * |

| 名称 | IP 多機能 電話機 | 単体 電話機 | SIP 端末 | デジタル コードレス | 機能概要 | 関連項目 | |
|-----------|------------------|-----------|-----------|---------------|--|---|----------|
| | | | | | | ◎：主装置関連設定データ （管理者） ○：主装置関連設定データ （ユーザ・管理者共通） ●：IP多機能電話機登録データ | 工事 設定 |
| 着信履歴 | ○ | — | — | — | 外線からの着信を自動的に記録し、表示したり、その相手の方に発信することができる機能 | なし | |
| 発信者名識別表示 | ○ | — | — | — | 共通/個人電話帳に登録されている名前を着信応答時に表示できる機能 | ◎ 共通電話帳新規登録 ● 電話帳新規登録 ○ 電話帳の新規登録 | * |
| 外線ボタン割付 | ○ | — | — | — | 着信時の電話番号（契約者回線番号／ダイヤルイン番号／i・ナンバー追加番号）ごとに外線キーを割り付けることができる機能 | なし | * |
| オートコールバック | ○ | ○ | ○ | ○ | あらかじめ登録された電話番号からの着信が一定時間以内に切断された場合にコールバックする機能 | なし | * |
| 着信情報メール通知 | ○ | ○ | ○ | ○ | 不在時や着信未応答時、相手先電話番号や名前情報をメールで通知する機能 | ◎ 着信通知メールサーバ設定 ○ 着信通知メール（電話機動作設定） ○ 着信通知メールアドレス（電話機動作設定） | |

*：特別な工事が必要となります。工事をご依頼ください。

■ 通話

| 名称 | IP 多機能 電話機 | 単体 電話機 | SIP 端末 | デジタル コードレス | 機能概要 | 関連項目 | |
|----------------|------------------|-----------|-----------|---------------|--|---|----------|
| | | | | | | ◎：主装置関連設定データ (管理者) ○：主装置関連設定データ (ユーザ・管理者共通) ●：IP多機能電話機登録データ | 工事 設定 |
| スピーカ受話 | ○ | — | — | — | 電話機のスピーカから、相手の 方の声を聞くことができる機能 | なし | |
| ハンズフリー通話 | ○ | — | — | — | ハンドセットの代わりにスピー カとマイクを使用して通話する ことができる機能 | なし | * |
| 受話音量調節 | ○ | — | — | — | ハンドセットまたはスピーカの 受話音量を調整することができる機能 | なし | |
| ヘッドセット通話 | ○ | — | — | — | ハンドセットの代わりにヘッド セットを使用して通話すること ができる機能 | ○ ヘッドセット接続 (電話機動作設定) | |
| 長時間通話警報 | ○ | — | — | — | 外線発信時に、一定時間通話が 続くと音で警報を通知すること ができる機能 | ○ 長時間通話警報送出 | * |
| 通話中ダイヤル | ○ | ○ | — | ○※1 | 外線通話中または内線通話中にダ イヤルボタンを押すことにより、 PB信号を送出できる機能 | なし | * |
| ヘッドセット 自動切断 | ○ | — | — | — | 相手が切断時に自動的にオンフッ クする機能 | ○ ヘッドセット自動切断 (電話機動作設定) | |
| フッキング | — | ○ | — | — | 単体電話機でフッキングにより 個別保留を行う機能 | なし | * |

*：特別な工事が必要となります。工事をご依頼ください。

※1：IP電話サービスには送出されません。

■ 保留・転送

| 名称 | IP 多機能 電話機 | 単体 電話機 | SIP 端末 | デジタル コードレス | 機能概要 | 関連項目 | |
|--------------|------------------|-----------|-----------|---------------|--|---|----------|
| | | | | | | ◎：主装置関連設定データ (管理者) ○：主装置関連設定データ (ユーザ・管理者共通) ●：IP多機能電話機登録データ | 工事 設定 |
| 個別保留・転送 | ○ | ○ | — | ○ | 個別保留操作を行うことにより、内線・外線を保留したり転送することができる機能 | ◎ 保留音設定 | * |
| 共通保留・転送 | ○ | — | — | — | 保留ボタンを押すことで、通話中の外線を保留し、ほかの電話機へ転送する機能 | ◎ 保留音設定 | * |
| パーク保留・転送 | ○ | — | — | — | 外線／内線通話中に、保留ボタンを押すことでパークボタンに保留および保留転送ができる機能 | ◎ 保留音設定 | * |
| 自動保留・転送 | ○ | — | — | — | 外線通話中に、内線ボタン、内線ホットラインボタンを押すことで、通話中の外線を個別保留し、ほかの電話機へ転送する機能 | ◎ 保留音設定 ○ フレキシブルボタン設定 | |
| 呼出状態転送 | ○ | — | — | — | 転送先の内線電話機を呼出中に電話機の操作で、呼出状態のまま転送できる機能 | なし | |
| 内線グループ音声呼出転送 | ○ | — | — | — | 外線を保留したあと、一斉内線呼出をして応答した電話機に転送することができる機能 | ● ワンタッチ登録 | * |
| 長時間保留警報 | ○ | — | — | — | 一定時間以上、保留状態が続くと、保留した電話機に警報音を鳴らす機能 | なし | * |
| 保留音源指定 | ○ | ○ | — | ○ | 保留音として2曲の中から選択したメロディを流すことができる機能 | ◎ 保留音設定 | |
| 外外転送 | ○ | — | — | — | 外線通話中に自電話機の操作により、転送先の電話機と外線通話を行った後、転送が行える機能 | ◎ 外外転送 (ユーザ電話機設定) | |
| 転送時臨時割付 | ○ | — | — | — | 保留応答や転送呼出先に転送した場合、転送先が通話のための外線ボタンを割り付けていないときに内線ボタンに臨時割り付ける機能 | なし | |

*：特別な工事が必要となります。工事をご依頼ください。

■表示

| 名称 | IP 多機能 電話機 | 単体 電話機 | SIP 端末 | デジタル コードレス | 機能概要 | 関連項目 | |
|-----------------|------------------|-----------|-----------|---------------|--|---|----------|
| | | | | | | ◎：主装置関連設定データ （管理者） ○：主装置関連設定データ （ユーザ・管理者共通） ●：IP多機能電話機登録データ | 工事 設定 |
| 漢字ディスプレ イ表示 | ○ | — | — | — | 電話機のディスプレイに状態を“漢 字”で表示することができる機能 | なし | |
| 表示クリア | ○ | — | — | — | クリアボタンを押してディスプレ イの表示を消す機能 | なし | |
| 状態表示 | ○ | — | — | — | 電話機の状態を文字やアイコン に置き換えて表示する機能 | ○ フレキシブルボタン設定 ● ワンタッチ登録 ○ モード切替設定 ● ワンタッチ登録 （管理者IP多機能電話機のみ） | |
| カレンダー・時計 表示 | ○ | — | — | — | 月日、曜日、時分をディスプレ イに表示できる機能 | ◎ 日付と時刻の設定 ● カレンダー・時計設定 （管理者IP多機能電話機のみ） | |
| 名称表示 | ○ | — | — | — | ボタンに収容されている名称を 表示することができる機能 | なし | |
| ナンバー・ディ スプレイ | ○ | ○※1 | — | — | 着信中や応答後に相手先の電話 番号を表示することができる機 能（このサービスを利用するに は、当社との利用契約が必要な 場合があります。） | なし | * |
| ネーム・ディス プレイ | ○ | ○※1 | — | — | 着信時に発信者の発信企業名 （氏名）を、ディスプレイに表示 することができる機能（このサー ビスを利用するには、当社との 利用契約が必要です。） | なし | * |
| 発信者名称表示 | ○ | — | — | — | 着信時に相手先の電話番号情報 がある場合、共通電話帳、個人 電話帳の情報により着信中や応 答後に発信者番号と発信者名を 表示することができる機能 | ◎ 共通電話帳 ○ 個人電話帳 | |
| 登録内容表示 | ○ | — | — | — | 再ダイヤル、電話帳、ワンタッチ ボタンの登録内容がディスプレ イに表示できる機能 | ◎ 共通電話帳 ○ 個人電話帳 ○ フレキシブルボタン設定 ● ワンタッチ登録 | |
| ダイヤルモニタ | ○ | — | — | — | 押されたダイヤルを表示する 機能 | なし | |
| 通話時間表示 | ○ | — | — | — | 外線通話中に通話時間が秒単位 でディスプレイに表示できる機 能 | なし | * |
| 転送元番号表示 | ○ | — | — | — | 不在着信転送による着信時、転 送元の電話機の内線番号を転送 先の電話機に表示できる機能 | ◎ 共通電話帳新規登録 ● 電話帳新規登録 ○ 電話帳の新規登録 ○ フレキシブルボタン設定 ● ワンタッチ登録 | |
| キーランプ表示 | ○ | — | — | — | 電話機のボタンに割り付けられ た機能の状態を表示できる機能 | ○ フレキシブルボタン設定 ● ワンタッチ登録 | * |
| 自内線番号・名称 表示 | ○ | — | — | — | 自分の電話機の内線番号と名称 を表示できる機能 | ◎ 共通電話帳 | |
| メッセージあり 情報通知 | — | ○ | — | — | 通知されるメッセージ有り情報 を単体電話機へ通知することが できる機能 | なし | * |

| 名称 | IP 多機能 電話機 | 単体 電話機 | SIP 端末 | デジタル コードレス | 機能概要 | 関連項目 | |
|-------------------|------------------|-----------|-----------|---------------|------------------------------|---|----------|
| | | | | | | ◎：主装置関連設定データ （管理者） ○：主装置関連設定データ （ユーザ・管理者共通） ●：IP多機能電話機登録データ | 工事 設定 |
| 無線状態表示 | ○ | — | — | — | 無線の強度を表示する機能 | なし | * |
| ハンドセット外 し警報音送出 | ○ | ○ | — | — | ハンドセット外れの電話機に警 告音を送出できる機能 | なし | * |
| キータッチトーン | ○ | — | — | — | キータッチ音の有無を設定でき る機能 | キータッチトーン （電話機動作設定） | |
| 鳴動同期 | ○ | — | — | — | 着信音や確認音の鳴動を同期さ せる機能 | なし | * |

※1：単体電話機ポート1に接続したナンバー・ディスプレイ／ネーム・ディスプレイ対応の単体電話機でご利用になります。

*：特別な工事が必要となります。工事をご依頼ください。

■ ドアホン

| 名称 | IP 多機能 電話機 | 単体 電話機 | SIP 端末 | デジタル コードレス | 機能概要 | 関連項目 | |
|--------|------------------|-----------|-----------|---------------|---|---|----------|
| | | | | | | ◎：主装置関連設定データ （管理者） ○：主装置関連設定データ （ユーザ・管理者共通） ●：IP多機能電話機登録データ | 工事 設定 |
| ドアホン呼出 | ○ | ○ | ○ | ○ | ドアホンを呼び出して通話する ことができる機能 | なし | * |
| ドアホン着信 | ○ | — | — | — | ドアホンから内線電話機を呼び 出すことができる機能 | なし | * |
| ドアホン応答 | ○ | ○ | — | ○ | 着信自動応答や代理応答により ドアホンからの着信に応答する 機能。またドアホン応答時の通 話音量を送話／受話ごとに設定 できる機能 | なし | * |

*：特別な工事が必要となります。工事をご依頼ください。

■ファクス

| 名称 | IP 多機能 電話機 | 単体 電話機 | SIP 端末 | デジタル コードレス | 機能概要 | 関連項目 | |
|------------------------|------------------|-----------|-----------|---------------|---|---|----------|
| | | | | | | ◎：主装置関連設定データ (管理者) ○：主装置関連設定データ (ユーザ・管理者共通) ●：IP多機能電話機登録データ | 工事 設定 |
| FAX収容 | — | ○ | — | — | システムに最大2台のファクスを収容できる機能(ファクスとしてのサービスが提供されます) | なし | * |
| FAX発信 | — | ○ | — | — | ファクス端末の外線発信時(INSネット64回線)、通信クラスを「G2/G3」で発信できる機能 | なし | * |
| FAX自動着信 | — | ○ | — | — | 通信クラスが「G2/G3」の着信(INSネット64回線)を自動的にファクスに着信させることができる機能 | なし | * |
| FAX1300Hz着信 (無鳴動着信) | — | ○ | — | — | 単体電話機に対して1300Hz着信(無鳴動着信)を行うことができる機能 | なし | * |

*：特別な工事が必要となります。工事をご依頼ください。

■ネットワークサービス (INSネット64回線)

一般加入電話回線のネットワークサービスについては、基本編 (●P89) を参照してください。

| 名称 | IP 多機能 電話機 | 単体 電話機 | SIP 端末 | デジタル コードレス | 機能概要 | 関連項目 | |
|---------------------------------|------------------|-----------|-----------|---------------|--|---|----------|
| | | | | | | ◎：主装置関連設定データ (管理者) ○：主装置関連設定データ (ユーザ・管理者共通) ●：IP多機能電話機登録データ | 工事 設定 |
| 料金情報通知 | ○ | — | — | — | 外線に発信し、お話しが終わったあとで、回線から送られてくる料金データを表示することができる機能 | なし | |
| キーパッド送付 | ○ | — | — | — | キーパッドを回線に送出し、各種ネットワークサービスを利用することができる機能 | なし | |
| i・ナンバー | ○ | ○ | ○ | ○ | INSネット64回線のi・ナンバー契約により、着信時に通知する電話機を指定することができる機能 | なし | * |
| 発信電話番号通知 要請機能 (ナンバーリクエスト) | ○ | — | — | — | 発信電話番号の通知を拒否し、アドレス情報が通知されない通信に対して代理応答しガイダンスする機能 別途当社との契約が必要です | なし | |
| ネーム・ディスプレイ | ○ | ○※1 | — | — | 発信者氏名を受信し、電話機に通知できる機能 別途当社との契約が必要です | なし | * |
| ナンバー・ディスプレイ | ○ | ○※1 | — | ○ | 発信者番号を受信し、電話機に通知できる機能 別途当社との契約が必要です | なし | * |

*：特別な工事が必要となります。工事をご依頼ください。

※1：単体電話機ポート1に接続されたナンバー・ディスプレイ/ネーム・ディスプレイ対応の単体電話機でご利用になれます。

■ その他

| 名称 | IP 多機能 電話機 | 単体 電話機 | SIP 端末 | デジタル コードレス | 機能概要 | 関連項目 | |
|----------------|------------------|-----------|-----------|---------------|---|--|----------|
| | | | | | | ◎：主装置関連設定データ (管理者) ○：主装置関連設定データ (ユーザ・管理者共通) ●：IP多機能電話機登録データ | 工事 設定 |
| システムモード | ○ | ○ | ○ | ○ | システムモードの切替（自動／手動）により電話機のサービスクラス、外線着信方式の変更が行える機能 | ◎ モード切替設定 ● ワンタッチ登録 (管理者IP多機能電話機のみ) ○ フレキシブルボタン設定 (管理者IP多機能電話機のみ) ◎ 日付と時刻の設定 ● カレンダー・時計設定 (管理者IP多機能電話機のみ) | |
| 停電カットスルー | — | ○ | — | — | 停電時に単体電話機ポート1と外線が直結につながる機能 | なし | * |
| カレンダー・時計設定 | ○ | — | — | — | カレンダー・時計設定を行える機能 | ○ 日付と時刻の設定 ● カレンダー・時計設定 (管理者IP多機能電話機のみ) | |
| DESKPORT接続 | ○ | — | — | — | HUBポートに接続したPCからActiveXCTに対応したアプリケーションを使用してIP多機能電話機を操作できる機能 また、PC上のDESKPORTからIP多機能電話機を操作できる機能 | なし | |
| フリーロケーション機能 | ○ | — | — | — | ユーザログインによるフリーロケーションでの運用ができる機能 | ◎ ログインパスワード変更設定 ● ログイン／ログアウト | * |
| 赤外線電話帳登録、電話帳送信 | ○ | — | — | — | 携帯電話機から赤外線通信でデータ送信された電話帳を個人電話帳に登録して、赤外線電話帳を携帯電話機に送信できる機能 | ● 赤外線電話帳受信 ● 赤外線電話帳送信 ● ワンタッチ登録 ○ フレキシブルボタン設定 | |

*：特別な工事が必要となります。工事をご依頼ください。

1
機能一
電話機
覧

2
行話
機P
の多
機能
を電

3
設定
電話
機能
の

4
設定
機能
の

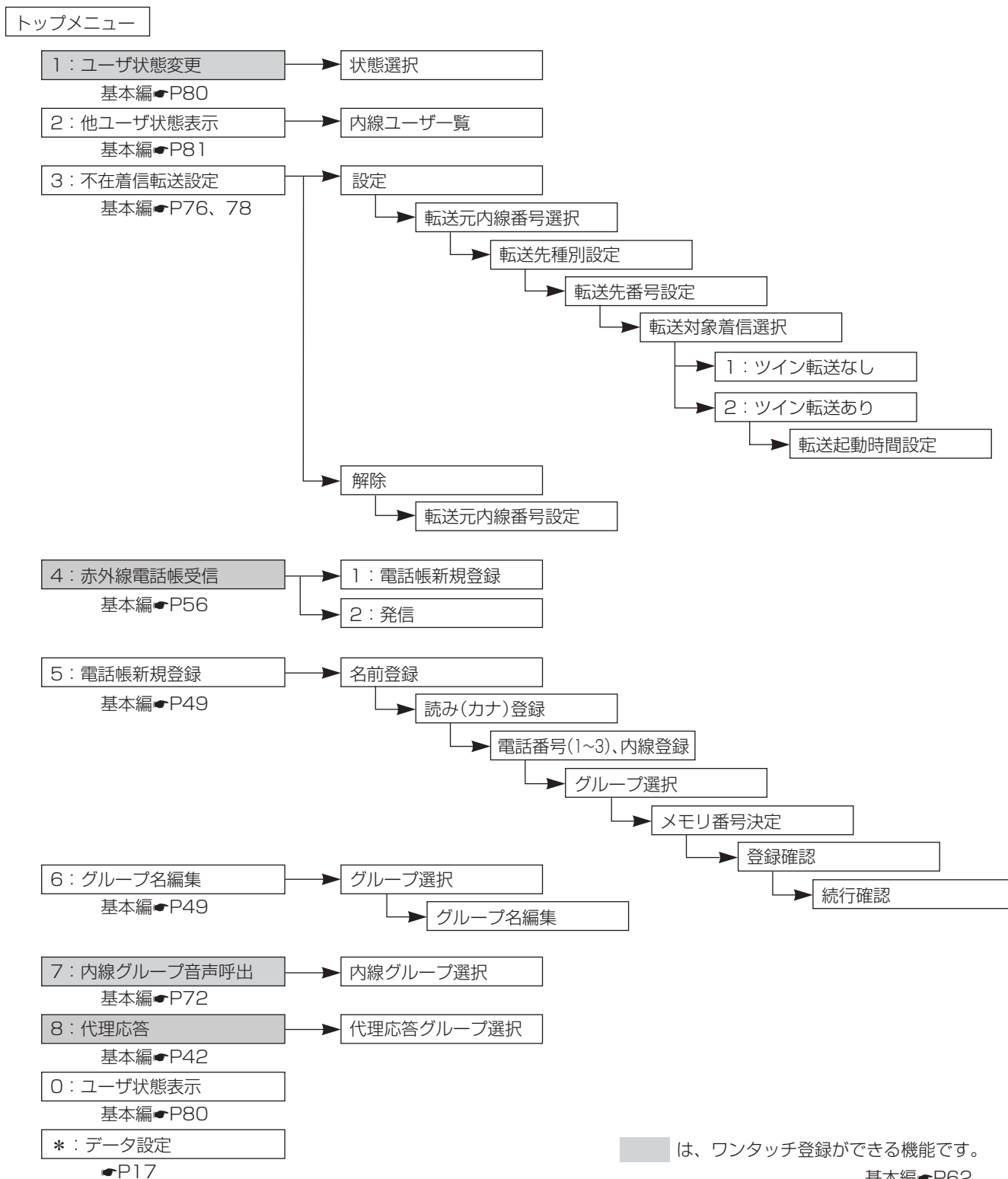
5
主装
置の
運用

6
ご参
考に

ご利用者が自分の電話機設定をする

IP多機能電話機のメニューボタンを押して操作します。(基本編➡P23)

■ IP多機能電話機 設定メニュー一覧①



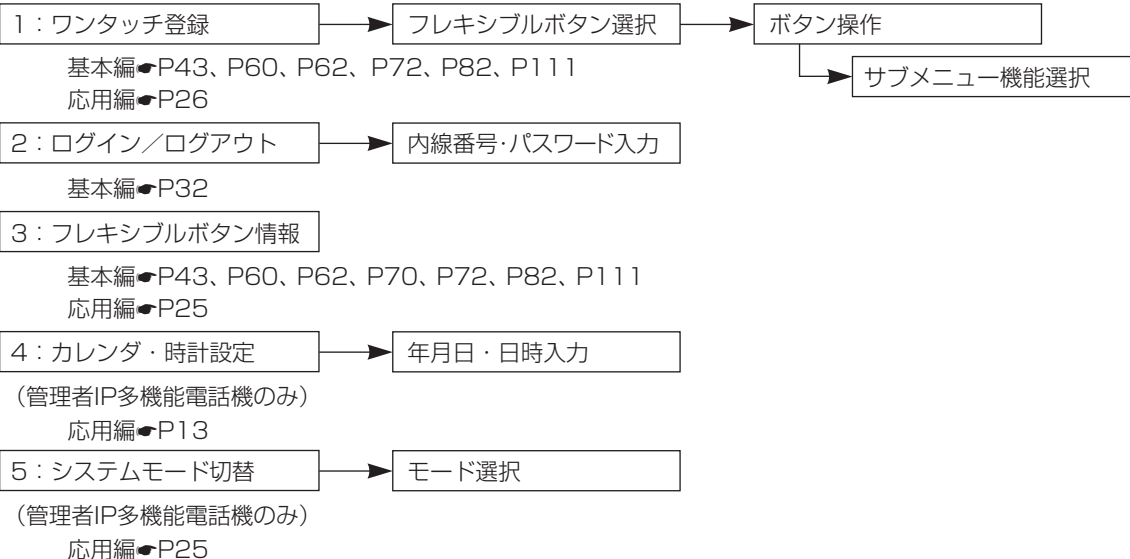
は、ワンタッチ登録ができる機能です。
基本編➡P62

| 項目名 | 説明 | | |
|--------------|---|--|--------------|
| 1：ユーザ状態変更 | ユーザごとに、そのときの状態を設定して、内線通話時などに相手の電話機に表示してお知らせします。 | | |
| | 設定項目 | 設定範囲 | 初期設定 |
| | ユーザ状態変更 | 不在／在席／離席／会議中／休憩中／食事中／外出中／その他不在、在席、離席以外は、管理者画面（全角5文字までか、半角10文字まで）で変更できます。 | 在席 |
| 2：他ユーザ状態表示 | 内線番号を指定して、その電話機に設定されているユーザ状態を確認できます。 | | |
| | 設定項目 | 設定範囲 | 初期設定 |
| | 他ユーザ状態表示 | 内線番号選択 | |
| 3：不在着信転送設定 | 着信を一時的にほかの内線電話機や登録した番号に転送できます。 | | |
| | 設定項目 | 設定範囲 | 初期設定 |
| | 不在着信転送設定 | 設定／解除 | なし |
| | 転送元内線番号設定 | 内線番号入力 | － |
| | 転送先種別設定 | 内線へ転送／外線へ転送 | |
| | 転送先番号設定 | 電話番号入力 | |
| | 転送対象着信選択 | 個別着信／全着信 | |
| | ツイン転送 | ツイン転送あり／ツイン転送なし | |
| | 転送起動時間設定 | 転送起動時間入力 60秒まで | 0秒 |
| 4：赤外線電話帳受信 | 携帯電話機の電話帳のデータを、赤外線通信で受信して利用できます。 | | |
| | 設定項目 | 設定範囲 | 初期設定 |
| | 赤外線電話帳受信 | 電話帳新規登録／発信 | － |
| | 電話帳新規登録 | はい／いいえ | |
| | 発信 | | |
| 5：電話帳新規登録 | 個人電話帳に新しい電話帳を登録できます。 | | |
| | 設定項目 | 設定範囲 | 初期設定 |
| | 名前 | 名前入力 漢字／カナ／英字／数字 半角20文字(全角10文字) | － |
| | 読み(カナ) | 読み入力 カナ／英字／数字 半角20文字 | |
| | 電話番号(1～3) | 電話番号入力 数字 半角32文字 | |
| | 内線 | 内線入力 数字 半角4文字 | |
| | グループ | グループ選択 | |
| | メモリ番号 | メモリ番号入力 数字 半角3文字 | |
| 6：グループ名編集 | 電話帳のグループを設定できます。 | | |
| | 設定項目 | 設定範囲 | 初期設定 |
| | グループ名編集 | グループを選択してグループ名入力 漢字／カナ／英字／数字 半角14文字(全角7文字) | 個人GR1～個人GR10 |
| 7：内線グループ音声呼出 | グループ設定された内線電話機を呼び出します。 | | |
| | 設定項目 | 設定範囲 | 初期設定 |
| | 内線グループ音声呼出 | 音声呼出する内線グループ選択 | グループ1 |
| 8：代理応答 | ほかの内線電話機への着信にも応答できます。 | | |
| | 設定項目 | 設定範囲 | 初期設定 |
| | 代理応答 | 代理応答するグループ選択 | グループ1 |
| 0：ユーザ状態表示 | その電話機に設定されているユーザ状態を確認できます。 | | |
| | 設定項目 | 設定範囲 | 初期設定 |
| | ユーザ状態表示 | | なし |

■ IP多機能電話機 設定メニュー一覧②

トップメニュー

*：データ設定メニュー



| 項目名 | 説明 | | |
|---|---|---|------|
| 1：ワンタッチ登録 | ワンタッチボタンに電話機の操作を登録して使用できるショートカット機能です。 | | |
| | 設定項目 | 設定範囲 | 初期設定 |
| | フレキシブルボタン選択 | ワンタッチ登録するボタンを選択 | － |
| | 操作登録 | フレキシブルボタン入力／スピーカボタン入力／内線ボタン入力／数字入力 32操作まで | |
| | サブメニュー機能選択 | ユーザ状態変更／代理応答／赤外線電話帳受信／内線グループ音声呼出／システムモード切替（管理者IP多機能電話機のみ） | |
| 2：ログイン／ログアウト ログイン中は、ログアウト、 ログアウト中は、ログイン 表示になります。 | 内線番号を利用できるようにログインします。／内線番号が利用できないようにログアウトします。 | | |
| | 設定項目 | 設定範囲 | 初期設定 |
| | 内線番号 | ログインする電話機の内線番号入力 数字 半角4文字 | － |
| | パスワード | パスワード入力 数字 半角8文字 | |
| 3：フレキシブルボタン 情報 | 外線／ワンタッチボタンに割り当てられている機能を確認できます。 | | |
| | 設定項目 | 設定範囲 | 初期設定 |
| | フレキシブルボタン情報 | | － |
| 4：カレンダー・時計設定 | システムの年月日、および時間を設定できます。 | | |
| | 設定項目 | 設定範囲 | 初期設定 |
| | 年月日 | 20××年××月××日 | － |
| | 時間 | 〇〇時〇〇分 | |
| 5：システムモード切替 | システムの昼／夜モードを切り替えることができます。 | | |
| | 設定項目 | 設定範囲 | 初期設定 |
| | モード選択 | システムのモードを選択 | － |



ワンポイント

- ひとつのフレキシブルボタンの内容を確認するには、メニューボタンを押してからフレキシブルボタンを押します。
- フレキシブルボタンに登録されているすべての内容を確認するには、メニューボタンを押してから、**(*)**を押します。

電話の詳細設定一覧

パソコンを使って「各種設定」を行うと、より便利に電話機をお使いになることができます。各種設定は、ネットワーク上のパソコンでWebブラウザを使いデータ設定ができます。（基本編●P103）

データ設定のメニュー

設定は、電話機をご利用いただいている方が設定する「ユーザメニュー」と、装置をご利用いただいている管理者が設定する「管理者設定メニュー」から構成されています。

●ユーザメニュー

| | |
|-----|--|
| 予 定 | スケジュール機能の設定（基本編●P109） |
| 個 人 | 個人電話帳の設定（基本編●P114） |
| 共 通 | 共通電話帳の表示 |
| 履 歴 | 発着信履歴一覧の表示（発信履歴一覧／個別着信履歴一覧／放送着信履歴一覧）（基本編●P118） |
| 保 守 | 主装置情報の表示 |
| 設 定 | フレキシブルボタン設定（基本編●P111） ユーザ状態別転送設定（基本編●P116） ユーザ・電話機設定 <ul style="list-style-type: none"> 電話機動作設定（●P18） ログインパスワード変更設定（基本編●P31） |

上記の項目を設定したり確認することができます。

●管理者設定メニュー

| | |
|-----|---|
| 共 通 | 共通電話帳の設定（基本編●P123） |
| 履 歴 | 発着信履歴一覧の表示（発信履歴一覧／個別着信履歴一覧／放送着信履歴一覧）（基本編●P118） |
| 保 守 | メンテナンス（主装置情報/手動アップロード/設定データー一覧/管理者アカウント設定/システムデータバックアップ・リストア/リモートメンテナンス/主装置動作ログ表示/IP電話ログ表示/IP電話接続・切断/PING/PPPoEマニュアル接続/レポート表示/ルータ設定一覧表示/再起動）（●P65） |
| 設 定 | 「ルータ機能一覧」（●P32） 「ユーザ・電話機設定」（●P18） <ul style="list-style-type: none"> 電話機動作設定（一般設定の電話機動作設定、サービスクラス設定ができます）（●P18） フレキシブルボタン設定（一般設定の「フレキシブルボタン設定と同じです」）（基本編●P111） ユーザ状態別転送設定（一般設定の「ユーザ状態別転送設定と同じです」）（基本編●P116） ログインアカウント設定（一般設定のログインパスワード変更設定と同じです）（●P22） 「発信許可番号設定」（●P28） 「発信規制番号設定」（●P29） 「削除ダイヤル設定」（●P30） 「状態表示名設定」（●P23） 「モード切替設定」（●P25） 「オートコールバック対象電話番号設定」（●P27） 「保留音設定」（●P24） 「AP/STA一覧表示」（●P84） 「事業者識別番号自動付与設定」（●P31） |
| リンク | システム間接続をしている場合に、ほかのシステムのIPアドレスや、データ設定ページへのリンクが表示されます。 |

上記の項目を設定したり確認することができます。

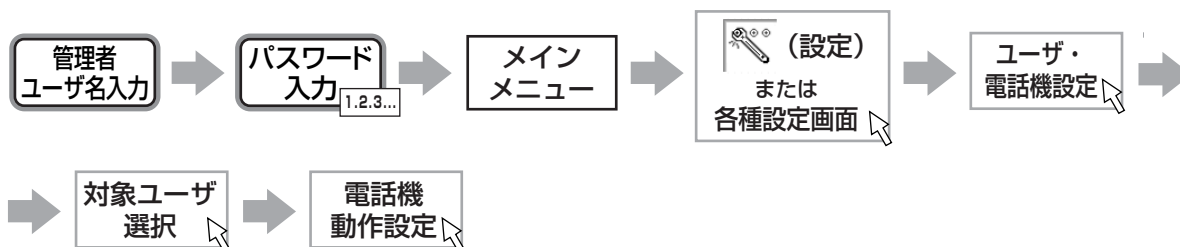
IP多機能電話機の設定を行います。

電話機動作設定画面を表示するには

●ユーザ設定の場合



●管理者設定の場合



| 設定項目 | 説明 | 初期設定 | |
|-------------------|---|-----------------|---------|
| ※サービスクラス | 昼／夜モードごとに、サービスクラスを選択する | クラス1 | |
| 内線呼出設定 | 内線の呼出方法を「信号呼出」か「音声呼出」か選択する | 信号呼出 | |
| オフフック外線自動捕捉 | ハンドセットを取りあげたときに外線発信できる状態にするかを選択する | 外線捕捉しない | |
| キータッチトーン | ダイヤルボタンを押したときに確認音を出すかを選択する | あり | |
| ヘッドセット接続 | ヘッドセットを接続して使用するかを選択する | なし | |
| ヘッドセット自動切断 | ヘッドセットでお話し中に、相手の方が電話を切った後、自動的に空き状態にするかを選択する | なし | |
| 長時間通話警報送出 | 長時間通話警報をするかを選択する | なし | |
| 着信通知メール | ダイヤルイン着信に 응답しなかったときに、メールで通知するかを選択する | なし（設定範囲 最大64文字） | |
| 着信通知メールアドレス | 着信通知メールの通知先アドレスを設定する | なし | |
| ※端末種別 | 一般の電話機（通常端末）か管理者設定ができる電話機（管理者端末）かを選択する | 通常端末 | |
| 発信者番号通知 | 外線発信時の発信者番号通知方法を回線ごとに設定する | 発信者番号通知 | 通知する |
| | | ISDN1 通知番号 | 契約者回線番号 |
| | | ISDN2 通知番号 | 契約者回線番号 |
| | | IP電話通知番号 | 契約者回線番号 |
| 発サブアドレス通知 | 外線発信時の発サブアドレス通知方法を回線ごとに設定する | なし | |
| 着サブアドレス ダイヤルイン | 着サブアドレスダイヤルインを許可するかどうかを選択する | 不許可 | |
| ※外外転送 | 外外転送を許可するかどうかを選択する | 不許可 | |

※管理者のみ設定可能

サービスクラス

昼／夜モードごとに以下のサービスクラスをプルダウンメニューから選択します。

「クラス0」：外線発信の規制を受けません。

「クラス1」：発信規制番号と一致する番号への外線発信が規制されます。

「クラス2」：発信許可番号と一致する番号への外線発信ができます。

「クラス3」：外線発信はすべて規制されます。



ワンポイント

○サービスクラスの利用方法

業務内容に応じてサービスクラスを電話機ごとに設定することで、不要な発信を規制することができます。

- ・「発信許可番号設定」（P28）
- ・「発信規制番号設定」（P29）

内線呼出設定

内線呼び出しされるとき、呼び出される側の設定を選択します。

「信号呼出」：呼出音が鳴ります。

「音声呼出」：相手からの音声スピーカーから聞こえます。

（次ページへつづく）

(前ページのつづき)

オフフック外線自動捕捉

ハンドセットを取り上げるだけで外線に発信できる状態にするかどうかを選択します。

3



ワンポイント

○オフフック外線自動捕捉の利用方法

単体電話機ポートに外線にしか発信しないファクスを接続する場合、その内線のオフフック外線自動捕捉を「あり」に設定すると相手先のファクス番号の前に「0」をつけないで発信することができます。

4

キータッチトーン

ダイヤルボタンを押すたびに、「ピッ」という音を鳴らすかどうかを選択します。

5

ヘッドセット接続

ヘッドセット通話（P8）を行うかどうかを電話機ごとに設定します。電話機にヘッドセットを接続してヘッドセット通話を行う場合、「あり」を選択します。

6

ヘッドセット自動切断

ヘッドセット通話相手の切断を検出してから、自動的に空き状態にするかどうかを選択します。



お知らせ

- 一般加入電話回線で通話しているときは、自動切断を行いません。

7

長時間通話警報送出

長電話を警告したい場合などに「あり」を選択します。

8

着信通知メール

ダイヤルイン着信に応答しなかったときに、メールで通知するかどうかを選択します。

9

着信通知メールアドレス

着信通知メールの通知先アドレスを設定します。

10

端末種別

一般の電話機か、管理者設定ができる電話機かを選択します。

発信者番号通知

INSネット64回線での外線発信時に、こちらの電話番号を相手の方に通知するかどうかを選択します。また、INSネット64回線の付加サービス、ダイヤルインまたはi・ナンバーを当社と契約しているされているお客様の場合には、追加番号を通知するかどうかを選択することができます。

また、IP電話通知番号もプルダウンメニューで通知する番号が選択できます。

- ・発信者番号通知「なし」：当社との契約内容にかかわらず、電話番号を通知しません。
- ・発信者番号通知「あり」：「契約者回線番号」を通知します。

i・ナンバーまたはダイヤルイン契約されている場合

- ・発信者番号通知「あり」でISDN1または2の通知番号「番号を選択」
：当社と契約しているダイヤルイン番号またはi・ナンバー追加番号で選択された追加番号を通知します。
- ・発信者番号通知「あり」でISDN1または2の通知番号「契約者回線番号」
：「契約者回線番号」を通知します。
- ・発信者番号通知「なし」でISDN1または2の通知番号「番号を選択」
：当社との契約内容にかかわらず、電話番号を通知しません。

※発信者番号で通知する電話番号の登録は、特別な工事が必要です。また、外線ボタン割付の設定によっては、外線ボタンに割り付けられた番号を通知することがあります。詳しくは局番なしの116番または当社の営業所へお問い合わせください。

※電話機ごとに設定することができます。



お知らせ

- 電話番号を通知する設定にしても、相手の方の電話機などが発信者番号を表示する機能を備えていない場合や、相手の方が発信者番号表示サービスを契約していない場合は、こちらの電話番号は表示されません。
- ここで設定した内容にかかわらず、電話をかけるとき電話番号の前に「184」または「186」を付加してダイヤルすると、その発信に限って非通知（「184」）または通知（「186」）になります。

12

発サブアドレス通知

INSネット64回線での外線発信時に、その電話機の内線番号をサブアドレスで通知するかを設定します。

13

着サブアドレスダイヤルイン

INSネット64回線からの着信時に着サブアドレスダイヤルインを許可するかを設定します。

14

外外転送

外外転送を許可するかを設定します。



お知らせ

- 設定を中止するときは、「設定せずに戻る」をクリックします。

(次ページへつづく)

ログインパスワード変更設定

ログインパスワードの設定を行います。

ログインパスワード変更設定画面を表示するには

●ユーザ設定



| 設定項目 | 説明 | 初期設定 | |
|-------|--|--------------|----|
| パスワード | IP多機能電話機／ブラウザ／DESKPORTでログインするときのパスワードを設定できます。 パスワードは省略（「なし」）してもログインできます | 古いパスワード | なし |
| | | 新しいパスワード | なし |
| | | 新しいパスワードの再入力 | なし |

パスワード

IP多機能電話機／ブラウザ／DESKPORTからのログインパスワードを設定できます。

1



ワンポイント

○パスワードを設定することにより、他の方からのログイン／ログアウトを規制することができます。

状態表示名設定

ユーザ状態の表示の設定を行います。

状態表示名設定画面を表示するには

●管理者設定



| 設定項目 | 説明 | 初期設定 |
|--------|-------------------------------------|------|
| 設定値の変更 | | |
| 不在状態名 | 変更できません | 不在 |
| 在席状態名 | 変更できません | 在席 |
| 通話中状態名 | 変更できません | 通話中 |
| 離席状態名 | 離席し電話に出られないときに、他の人に通知する名称などを登録します | 離席 |
| 会議中状態名 | 会議などで電話に出られないときに、他の人に通知する名称などを登録します | 会議中 |
| 休憩中状態名 | 休憩などで電話に出られないときに、他の人に通知する名称などを登録します | 休憩中 |
| 食事中状態名 | 食事などで電話に出られないときに、他の人に通知する名称などを登録します | 食事中 |
| 外出中状態名 | 外出などで電話に出られないときに、他の人に通知する名称などを登録します | 外出中 |
| その他 | 他の状態で電話に出られないときに、他の人に通知する名称などを登録します | その他 |

1

設定値の変更

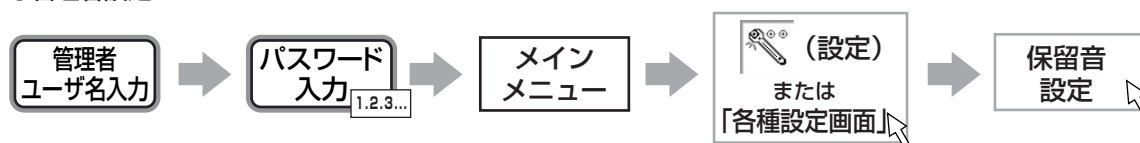
各状態で表示する名称を変更したい場合、該当の設定値に表示したい名称を登録します。
入力は「全角で5文字」または「半角で10文字」まで設定できます。

保留音設定

使用する保留音の設定を行います。保留音は、2つの音から選ぶことができます。

保留音設定画面を表示するには

●管理者設定



| 設定項目 | 説明 | 初期設定 |
|-------|----------|------|
| 保留音選択 | 保留音を選択する | 保留音1 |

1

保留音選択

使用する保留音を「保留音1」「保留音2」のいずれかから選択します。

保留音1：ビゼーのメヌエット

保留音2：みんなで歌おう

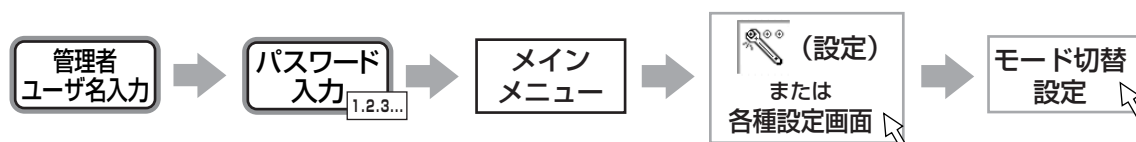
モード切替設定

モード切替設定を利用すると、設定した時間で昼／夜モードを自動的に切り替えることができ、昼間と夜間で着信音が鳴る電話機を変えることや、電話機のサービスクラスを変えることなどができます。

新たにモード切替設定をする場合は、[追加登録]をクリックします。モード切替設定は最大10個まで設定できます。またモード切替時刻の変更・削除を行う場合は、その設定No.をクリックします。

モード切替設定画面を表示するには

●管理者設定



(次ページへつづく)

(前ページのつづき)

| 設定項目 | 説明 | 初期設定 |
|--------|---------------|------|
| 切替開始時間 | 切り替えたい時刻を設定する | なし |
| 曜日 | 切り替えたい曜日を選択する | なし |
| 昼／夜モード | 切り替えるモードを選択する | 昼 |



ワンポイント

○モード切替の設定例

月曜日から金曜日は朝8時から夜8時まで昼モード、それ以外の時間帯および土・日は夜モードに設定する場合、昼モードに切り替える設定と夜モードに切り替える設定を行います。

<昼モードに切り替える設定>

曜日 : 月、火、水、木、金を選択
切替開始時間 : 08:00
昼／夜モード : 昼

<夜モードに切り替える設定>

曜日 : 月、火、水、木、金を選択
切替開始時間 : 20:00
昼／夜モード : 夜

1

切替開始時間

切替時間を24時間制で入力します。

2

曜日

自動的に切り替えたい曜日を選択します。複数選択することができます。

昼／夜モード

切り替えるモードを選択します。

「昼」: 指定した曜日の指定した時刻に、夜モードから昼モードに自動的に切り替えます。

「夜」: 指定した曜日の指定した時刻に、昼モードから夜モードに自動的に切り替えます。

3



お知らせ

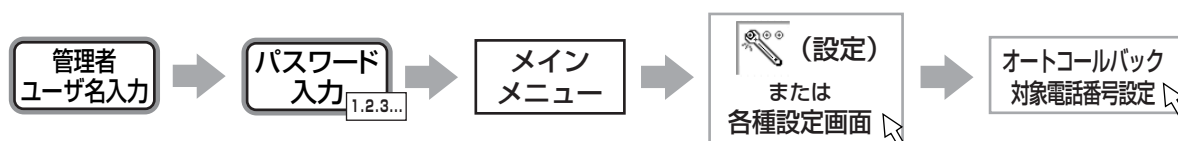
- モード切替をご利用になる前に、時計を正しく合わせてください。
・「日付と時刻の設定」(P33)
- 設定を中止するときは、[登録せずに戻る] / [更新せずに戻る] をクリックします。
- モードの自動切替を有効にするには、管理者用IP多機能電話機のシステムモード切替ボタンを押して、「自動切替」を選択してください。「昼モード」または「夜モード」を選択したときは、自動的に切り替わりません。システムモード切替ボタンは、管理者用IP多機能電話機のワンタッチボタンに割り当てることができます。(基本編P62、P113)

オートコールバック対象電話番号設定

事前に登録された番号からの着信が一定時間内で切断した場合に、自動的に発信して接続します。詳しくは、基本編「オートコールバックを設定する」(基本編●P125)を参照してください。

オートコールバック対象電話番号設定画面を表示するには

●管理者設定



| 設定項目 | 説明 | 初期設定 |
|----------|----------------------|------|
| コールバック番号 | オートコールバックする電話番号を入力する | なし |

1

オートコールバック対象電話番号設定

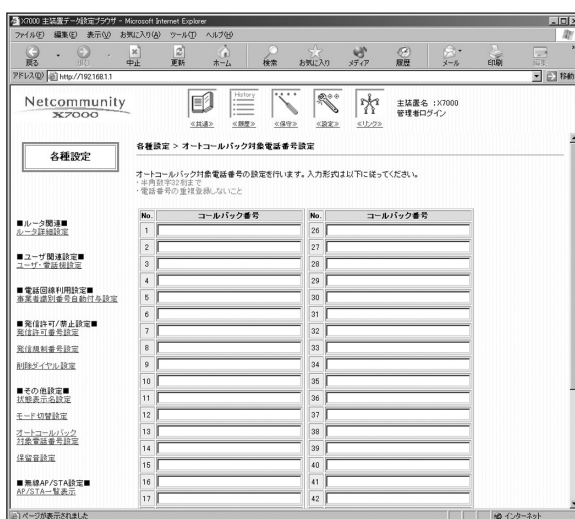
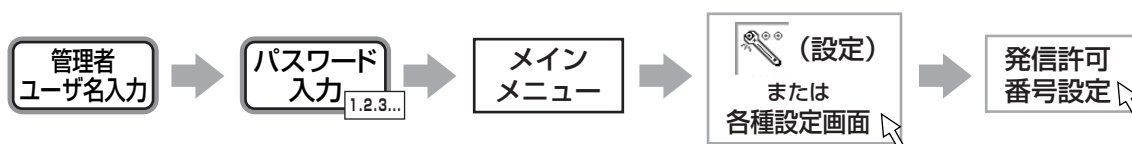
オートコールバックする電話番号を設定します。

発信許可番号設定

サービスクラス2に適用する発信許可番号を設定します。

発信許可番号設定画面を表示するには

●管理者設定



| 設定項目 | 説明 | 初期設定 |
|----------|--------------------------|------|
| 発信許可番号設定 | サービスクラス2で適用する発信許可番号を設定する | なし |

発信許可番号設定

- ・「内線電話機設定」の「サービスクラス」をクラス2に設定した内線電話機から、発信を許可する電話番号を設定します。(半角数字、*、#、最大32桁)
- ・最大32か所までの電話番号を設定できます。

1



ワンポイント

○発信許可番号設定の利用方法

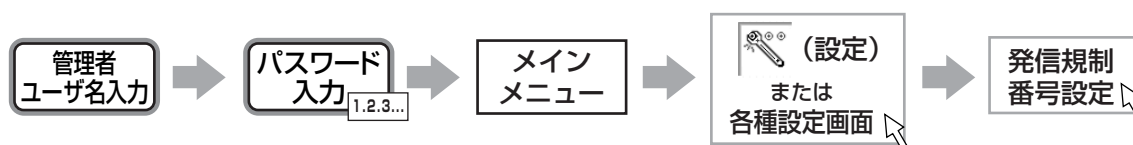
サービスクラス2で運用している内線電話機は、ここで設定した番号で始まる相手先へ発信することができます。たとえば市内局番と市外の営業所の電話番号を設定しておくと、サービスクラス2の電話機からは内線発信、市内発信、および市外の営業所への発信だけが許可されます。(ダイヤルした番号と発信許可番号とを先頭から比較し、一致した場合だけ発信できます。)

発信規制番号設定

サービスクラス1に適用する発信規制番号を設定します。

発信規制番号設定画面を表示するには

●管理者設定



| 設定項目 | 説明 | 初期設定 |
|----------|--------------------------|------|
| 発信規制番号設定 | サービスクラス1に適用する発信規制番号を設定する | なし |

発信規制番号設定

- 「内線電話機設定」の「サービスクラス」をクラス1に設定した内線電話機からの発信を規制する電話番号を設定します。（半角数字、*、#、最大32桁）
- 最大32か所までの電話番号を設定できます。

1



ワンポイント

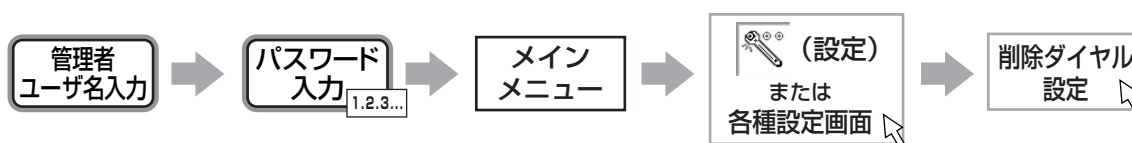
○発信規制番号設定の利用方法

サービスクラス1で運用している内線電話機は、ここで設定した番号で始まる相手先へ発信することができません。例えば「0990」を設定しておくと、サービスクラス1の電話機からはダイヤルQ2に発信できなくなります。（ダイヤルした番号と発信規制番号とを先頭から比較し、一致した場合は話中音となり発信できません。）

削除ダイヤル設定

発信規制の対象（発信許可番号および発信規制番号との比較）から除外する先頭のダイヤルを設定します。

削除ダイヤル設定画面を表示するには



| 設定項目 | 説明 | 初期設定 |
|----------|--|-------------------------------|
| 削除ダイヤル設定 | 発信規制の対象（発信許可番号および発信規制番号との比較）から除外する先頭のダイヤルを設定する | 184/186/122/ 184122/186122 |

削除ダイヤル設定

- ・ 発信規制の対象から除外する先頭のダイヤルを設定します。（半角数字、*、#、最大32桁）
- ・ 最大32か所までの電話番号を設定できます。
- ・ 設定されているダイヤルが発信する電話番号の先頭にあった場合、そのダイヤルを削除した電話番号で発信規制（発信許可番号および発信規制番号との比較）を行います。

1



ワンポイント

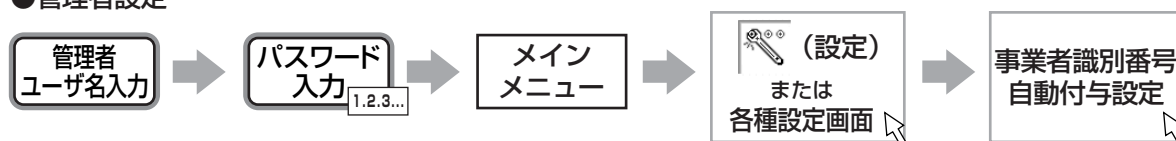
● 削除ダイヤル設定の利用方法

相手先の電話番号の前にダイヤルする「184」（発信番号の非通知発信ダイヤル）のような電話番号を設定しておくことにより、そのダイヤルを削除した電話番号（相手先の電話番号）で発信規制を行うことができます。例えば、発信規制番号に「0990」（ダイヤルQ2）が設定してあり、サービスクラス1の内線電話機から「1840990」とダイヤルした場合、先頭のダイヤル「184」を削除したダイヤル「0990」が発信規制の対象ダイヤルとなり、ダイヤルQ2に発信できません。

事業者識別番号自動付与設定

INSネット64回線、および、一般加入電話回線を利用して、080または090で始まる番号をダイヤルしたとき、事業者識別番号を自動的に付与して発信します。

●管理者設定



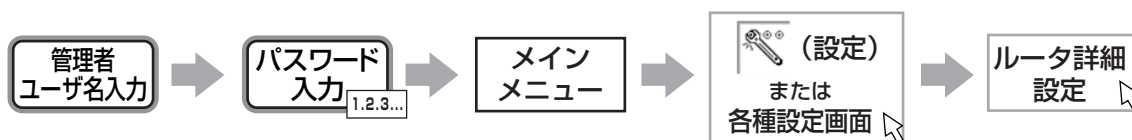
| 設定項目 | 説明 | 初期設定 |
|----------|--|-------------------------|
| 自動付与機能 | 事業者識別番号の自動付与機能を使用するか選択します。自動付与機能を有効にするには「あり」を選択してください。 | なし |
| 事業者識別番号 | 事業者識別番号が表示されます。 | (表示のみ) |
| 自動付与解除番号 | 自動付与機能を解除する特番です。 | (表示のみ) |
| 対象番号テーブル | 自動付与の対象となる電話番号を設定します。 | 0801～0809、 0901～0909 |

ルータ機能一覧

「ルータ詳細設定」を行うと、より便利にルータ機能をお使いになることができます。

ルータ詳細設定画面を表示するには

●管理者設定



| 機能名称 | 概要 | 関連設定データ |
|--------------------------|--|---|
| PPPoEによるADSL/光アクセスサービス接続 | PPPoE/EthernetによるADSL/光アクセスサービス接続 | LAN設定 WAN接続設定 |
| ローカルルータ接続 | ローカルIPルータとして接続する機能 | LAN設定 WAN接続設定 |
| 常時接続 | インターネットなどと常時接続を行うことができる機能 | LAN設定 WAN接続設定 |
| IPルーティング | 静的ルーティング（送信元ルーティング、ポートルーティング、DNSルーティング）／動的ルーティングを行う機能 | ルーティング設定 |
| ProxyDNS機能 | DNSの代理応答をキャッシュテーブルや設定から行う機能 | DNS設定 |
| DHCPサーバ機能 | LAN側のネットワーク端末に対しIPアドレスなど、自動的に割り付ける機能 | LAN設定 |
| 各種フィルタリング機能 | 各種のフィルタリングを行う機能 | IPパケットフィルタリング設定 |
| UPnP対応 | InternetGatewayDeviceとUPnPクライアントに対応。UPnP（Universal Plug and Play）機能 | UPnP設定 |
| PPPoEマルチセッション接続 | 複数のPPPoEセッションを確立する機能 | WAN接続設定 |
| アドレス変換（NAT） | スタティックなアドレス変換テーブル/WAN側インタフェースに設定・獲得されたグローバルIPを利用して、LAN側プライベートIPアドレスをWAN側グローバルIPアドレスに変換する機能 | NATとIPマスカレード設定 |
| アドレス変換（NAPT） | LAN（プライベートIPアドレス）側からの特定サービス（ポート）を指定したWAN（グローバルIPアドレス）側への接続において、WAN側IPアドレスとポートを変換することができる機能 | NATとIPマスカレード設定 |
| MTU手動設定 | PPPoEセッションでのMTUを手動で設定できる機能 | WAN接続設定 |
| NTPクライアント | NTPクライアント機能 | 日付と時刻の設定 |
| 利用ホスト制限 | HTTPとFTPのアクセス制限を行う機能 | HTTPサービスの利用ホスト制限の設定 FTPサービスの利用ホスト制限の設定 |
| メール送信 | E-Mailを送信できる機能 | メール通知設定 |

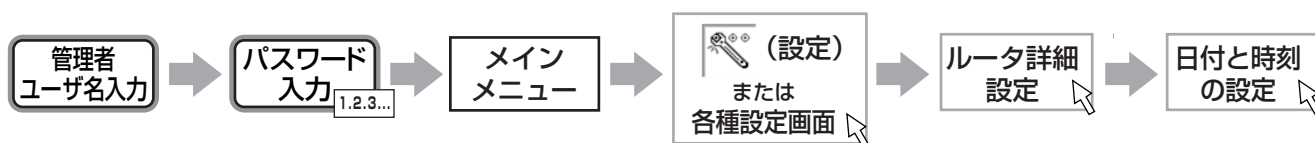
日付と時刻の設定

日付と時刻を設定することができます。

手動で設定する以外に、インターネット上またはローカルネットに設置されたNTPサーバを使用して、設定を行うことができます。

日付と時刻の設定画面を表示するには

●管理者設定



●手動による設定

| 設定項目 | 説明 | 設定範囲 | 初期設定 |
|------|------------|-------------|------|
| 手動設定 | 日付と時刻を設定する | 年/月/日/時/分/秒 | — |

●NTPクライアントによる設定

| 設定項目 | 説明 | 設定範囲 | 初期設定 |
|---------------|---------------------------------|--|------|
| 問合せNTPサーバアドレス | 問合せ先のNTPサーバのIPアドレス、またはホスト名を設定する | IPアドレス：x.x.x.x x：0～255 10進数 最大63文字（制御コード、スペースを除くASCII文字） | なし |
| 問合せ間隔 | NTPサーバへの問合せ間隔を設定する | 自動調整／毎日／曜日／日付（1日～28日）／1回のみ | 自動調整 |

1 手動設定

手動で、日付と時刻を入力するときに選択します。

2 問合せNTPサーバアドレス

インターネット上、またはローカルネットに設置されてるNTPサーバのIPアドレスを入力します。IPアドレス、またはホスト名で指定します。

3 問合せ間隔

NTPサーバへの問合せ間隔を設定します。

- ・ 問合せ間隔は、“自動調整／毎日／曜日指定／日付指定／1回のみ” から選択できます。
- ・ “毎日／曜日指定／日付指定” は、指定の時刻にNTPサーバへ問い合わせをします。
- ・ 日付指定の場合は、“1日～28日” から選択します。
- ・ “1回のみ” の場合は、設定時のみ問合せをします。

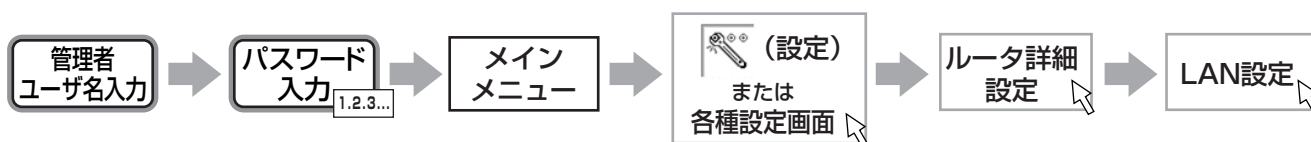
LAN設定

システムのLANインタフェースとDHCPサーバに対する設定を行います。

DHCPサーバ機能は、接続されているLANからの要求により設定されたIPアドレスの割り付けやサーバアドレス情報の通知を行います。また、DHCP割り付けテーブルを設定することにより、最大8つのIPアドレスを静的に割り付けることができます。

LAN設定画面を表示するには

●管理者設定



●LAN設定

| 設定項目 | 説明 | 設定範囲 | 初期設定 |
|-------------|---|----------------------------|-------------|
| IPアドレス | LANインタフェースのIPアドレスを設定する | X.X.X.X (Xは、0～255、10進数) | 192.168.1.1 |
| ネットマスク | LANのネットマスクをネットワークアドレスのビット数で設定する | 1～30 | 24 |
| GWのIPアドレス設定 | INSネット64回線、一般加入電話回線などを制御するためのゲートウェイのIPアドレスを設定する | X.X.X.X (Xは、0～255、10進数) | 192.168.1.2 |

ルータ設定をする

●DHCPサーバ設定

| 設定項目 | 説明 | 設定範囲 | 初期設定 |
|-------------|---|---|-------------------------------|
| DHCPサーバ機能 | DHCPサーバ機能を使うかどうか設定する | 使用する／使用しない | 使用しない |
| 割付IPアドレス範囲 | DHCPクライアントに割り付けるIPアドレスの範囲を設定する | X.X.X.X～X.X.X.X X：0～255 10進数 | 192.168.1.10～ 192.168.1.99 |
| リース時間 | DHCPクライアントに割り付けるIPアドレスの使用期限を設定する 「0」に設定された場合は、無期限のリースとなる | 0～1000(時間) | 72 |
| デフォルトゲートウェイ | DHCPクライアントに通知するデフォルトゲートウェイアドレスを設定する | X.X.X.X X：0～255 10進数 | 192.168.1.1 |
| 通知DNSアドレス | DHCPクライアントに通知するDNSのアドレスを設定する 指定の場合は、プライマリDNSサーバアドレスとセカンダリDNSサーバアドレスを設定する | Proxy/指定/通知無し/プロバイダエントリから選択 指定の場合は、 X.X.X.X X：0～255 10進数 | Proxy |
| 通知WINSサーバ | DHCPクライアントに通知するWINSサーバのアドレスを設定する 指定の場合は、プライマリWINSサーバアドレスとセカンダリWINSサーバアドレスを設定する | X.X.X.X X：0～255 10進数 | なし |

●DHCP割付テーブル（最大8個）

| 設定項目 | 説明 | 設定範囲 | 初期設定 |
|---------|---|-----------------------------------|------|
| IPアドレス | 静的に割り付けるIPアドレスを登録する。ここで登録されるIPアドレスは、LAN設定のネットワークアドレスの範囲内で設定する | X.X.X.X X：0～255 10進数 | なし |
| MACアドレス | IPアドレスを静的に割り付ける主装置のMACアドレスを設定する | XX:XX:XX:XX:XX:XX (X:0～F 16進数) | なし |
| 通知ホスト名 | 静的に割り付けられたIPアドレスに通知するホスト名を設定する | 最大32文字（制御コード、スペースを除くASCII文字） | なし |

■LANアドレス設定

1

IPアドレス

IPアドレスを入力します。

ネットマスク

ネットマスクは、"/"の後ろに入力してください。



ワンポイント

●ネットマスクの設定について

本商品は、ネットマスクはネットワークアドレスのビット数で設定します。

- ・ネットワークアドレスが、255. 255. 255. 0の場合：24を入力（IPアドレス数254個）
- ・ネットワークアドレスが、255. 255. 255. 192の場合：26を入力（IPアドレス数62個）
- ・ネットワークアドレスが、255. 255. 255. 240の場合：28を入力（IPアドレス数14個）
- ・ネットワークアドレスが、255. 255. 255. 248の場合：29を入力（IPアドレス数6個）



お知らせ

- LAN設定を変更した場合は、設定データ保存後、主装置およびパソコンの再起動を行ってください。

2

3

GWのIPアドレス

ゲートウェイのIPアドレスを、LANインターフェースのIPアドレスと同じサブネット内で入力します。ここでの「ゲートウェイ」とは、INSネット64回線、一般加入電話回線などを制御するためのもので、「デフォルトゲートウェイ」の設定とは異なります。

■DHCPサーバ設定



お知らせ

- DHCPの詳細については「DHCP割り付け状態を表示する場合」を参照してください。(P81)
- DHCPにより通知されるDNSサーバアドレスは、設定により次のようになります。
 - ・[Proxy] を選択した場合は、主装置のIPアドレスを通知します。
 - ・[指定] を選択した場合は、指定したIPアドレスを通知します。
 - ・[通知無し] を選択した場合は、通知しません。
 - ・[プロバイダエントリから選択] を選択した場合は、プロバイダから通知されたIPアドレスを通知します。
- DHCP割付テーブルの設定は、MACアドレスの設定により静的に割り付けられます。

DHCPサーバ機能

DHCPサーバ機能を使用するかどうか選択します。

1



お知らせ

- DHCPサーバで[使用しない] を選択した場合は、以下の設定は無効となります。
- IP多機能電話機がDHCP ONで動作しているときは、DHCPサーバを[使用する] に設定してください。
ただし、LAN内にほかのDHCPサーバがあるときは、DHCPサーバを[使用しない] に設定してください。

割付IPアドレス範囲

DHCPクライアントに割り付けるIPアドレスの範囲を設定します。

2



お知らせ

- LANインタフェース設定のIPアドレスおよびGWアドレスとネットマスクで設定されたサブネット外のIPアドレスは設定できません。

3

リース時間

リース時間を設定します。

4

デフォルトゲートウェイ

デフォルトゲートウェイのIPアドレスを設定します。

通知DNSアドレス

通知するDNSの通知方法とIPアドレスを設定します。



お知らせ

- ProxyDNS機能は、LAN側のネットワーク端末のDNSサーバIPアドレスを主装置のIPアドレスに設定することにより、主装置が接続しているDNSサーバを使用してアドレス解決を行います。このため、LAN側ネットワーク端末の設定を変更せずにアドレス解決が可能となります。
- また、ホストテーブルにホスト名とIPアドレスを登録することにより、一致するホスト名に対してDNSの代理応答を行います。

通知WINSサーバ

通知するプライマリWINSサーバとセカンダリWINSサーバのIPアドレスを設定します。



お知らせ

- WINSサーバを使用しない場合は、何も入力しないでください。
- WINSサーバ機能は内蔵されていません。

■DHCP割付テーブル

DHCP割付テーブル

静的に割り付けるホスト名／MACアドレスとIPアドレスの組を入力します。



お知らせ

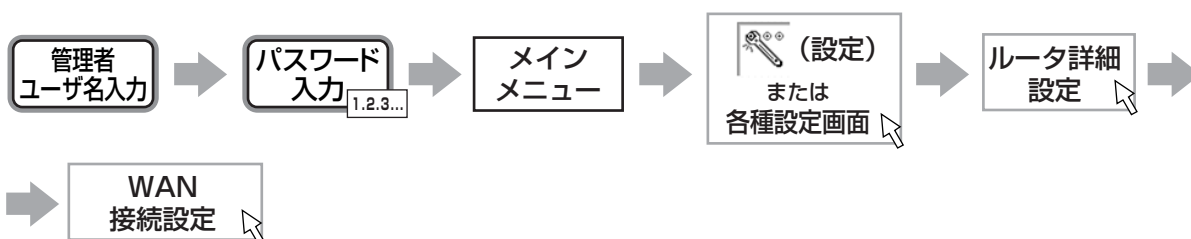
- 静的にIPアドレスを割り付ける場合には、DHCP割り付けテーブルへの設定が必要です。
- IPアドレスは、DHCPサーバ設定で設定された範囲内での設定も可能です。ただし、LANインタフェースのIPアドレスとネットマスクで設定されたサブネット外のIPアドレスは無効となります。
- MACアドレスとIPアドレスの組は、最大8個まで設定することができます。
- 端末のMACアドレスは、接続されているLANカード／ボードに記載されています。詳しくは使用しているLANカード／ボードの取扱説明書を参照してください。
- DHCPサーバ設定によるIPアドレスの割り付けは、LAN側のみ利用できます。
- IPアドレスの割り付けは、MACアドレスが一致した端末に割り付けます。

WAN接続設定（プロバイダエントリ）

WAN接続設定（プロバイダエントリ）は、フレッツ・ADSL/Bフレッツの接続設定を行います。接続モードは、PPPoEによる接続、固定IPアドレスによる接続から選択できます。接続先の最大登録数は、5です。なお、この取扱説明書で説明する設定項目のプロバイダエントリは、WAN接続設定で設定した接続先を示します。

WANの接続設定画面を表示するには

●管理者設定



●接続モード

| 設定項目 | 説明 | 設定範囲 | 初期設定 |
|----------|--|--------------------------------|------|
| PPPoE | PPPoEによりアドレスを取得する場合に選択する PPPoEを選択した場合、PPPoEによる設定画面に移動する | — | — |
| 固定IPアドレス | IPアドレスを固定して使用する場合に選択する IPアドレスとネットマスク値を入力する | X.X.X.X/ネットマスク X：0～255 10進数 | — |



お知らせ

- PPPoEによる接続を選択した場合は、固定IPアドレスによる接続は無効です。
- 固定IPアドレスによる接続を選択した場合は、PPPoEによる接続は無効です。



●PPPoEによる接続設定（接続モードを「PPPoE」に合わせて、[移動] をクリックすると表示されます。）

| 設定項目 | 説明 | 設定範囲 | 初期設定 |
|-----------------------|---|-------------------------------|-------|
| IP電話使用プロバイダ | IP多機能電話機で使用するプロバイダを選択する | 使用しない／PPPoE No.1～No.5 | 使用しない |
| 接続先名 | 接続先の名称を入力する | 最大8文字（制御コード、スペースを除くASCII文字） | — |
| 接続先の認証方法 | | | |
| 認証方法 | 認証方法を入力する | PAP/CHAP/なし | PAP |
| 接続ユーザ名 | プロバイダから指定されたユーザ名を入力する | 最大128文字（制御コード、スペースを除くASCII文字） | — |
| 接続パスワード／ 接続パスワード確認 | プロバイダから指定されたパスワードを入力する | 最大32文字（制御コードを除くASCII文字） | — |
| デフォルトゲートウェイ 指定 | デフォルトゲートウェイとして使用する場合は、チェックを入れる | しない／する | する |
| MTU設定 | MTUの値を入力する | 68～1492 | 1454 |
| Unnumbered指定 | Unnumberedによる運用の場合にチェックを入れる | しない／する | しない |
| DNSサーバアドレス | DNSサーバアドレスの取得方法を選択する アドレス指定の場合は、プライマリDNS サーバアドレスとセカンダリDNSサーバ アドレスを設定する | 自動／アドレス指定 | 自動 |
| プライマリDNSサーバ アドレス | プライマリDNSサーバのIPアドレスを設定 する | X.X.X.X X：0～255 10進数 | — |
| セカンダリDNSサーバ アドレス | セカンダリDNSサーバがあれば、IPアドレ スを設定する | X.X.X.X X：0～255 10進数 | — |
| 自動接続 | 起動時に自動で接続を行う場合に設定する | しない／する | する |

ルータ設定をする

■ PPPoEによる接続設定を行うには

接続モードをPPPoEに設定し、[移動] をクリックしてください。

新規登録する場合

1. 必要項目を入力する
2. [追加] をクリックする
3. 確認画面で[OK]をクリックする
4. [設定] をクリックする

削除する場合

1. 一覧の中から該当する[削除]をクリックする
2. 確認画面で[OK]をクリックする
3. [設定] をクリックする

変更する場合

1. 一覧の中から該当する[編集]をクリックする
2. 変更を行う
3. [編集] をクリックする
4. 確認画面で[OK]をクリックする
5. [設定] をクリックする

1

接続先名

接続先名を入力します。

認証方法

- ・プルダウンメニューから、相手からの認証要求を受け入れるかを設定します。
- ・接続先の認証を「PAP」または「CHAP」に設定した場合は、通常、接続ユーザ名／接続パスワードを入力します。

2



お知らせ

- 接続ユーザ名／接続パスワードは、プロバイダから指定され、アカウント名／アカウントパスワード、ログイン名／ログインパスワード等と呼ばれる場合があります。
- 接続先の認証方法を「なし」に設定した場合、接続ユーザ名／接続パスワードは設定する必要がありません。
- 接続パスワードは、「●●●●」や「****」などで表示されます。

3

デフォルトゲートウェイ指定

デフォルトゲートウェイとして使用する場合に指定します。

4

MTU設定

プロバイダからMTUの値の指定があった場合、数値を入力します。

5

Unnumbered（アンナンバード）設定

プロバイダから取得した複数のグローバル固定IPアドレスをLANで使用する場合に設定します。

6

DNSサーバアドレス

設定中のPPPoE接続において、DNSサーバアドレスの取得方法を選択します。通常は、自動で取得しますが、自動で取得できない場合やプロバイダからの指定がある場合は、プライマリDNSサーバアドレスとセカンダリDNSサーバアドレスを設定します。

7

プライマリDNSサーバアドレス

プライマリDNSサーバアドレスの指定がある場合に設定します。

8

セカンダリDNSサーバアドレス

セカンダリDNSサーバアドレスの指定がある場合に設定します。

9

自動接続

起動時に自動で接続を行う場合に指定します。



お知らせ

- デフォルトゲートウェイ指定を設定したプロバイダエントリとIP電話使用プロバイダが異なる場合、IP電話が使用できません。
- プロバイダエントリのデフォルトゲートウェイ設定とルーティング設定のデフォルトルート設定において、デフォルトゲートウェイとしての設定がどちらにも設定されない場合、正常に動作できません。
- MTUの値が適切に設定されていない場合、特定のWebページが表示できないなどの問題が発生する場合があります。
- PPPoEによる接続設定は「設定」をクリックした時点で有効になります。PPPoEマニュアル接続の画面において、手動で接続を開始できます。ただし、自動接続の設定は主装置の再起動後に有効になります。

DNS設定

DNS設定は、外部のDNSに関する設定ができます。

- WAN側自動取得による設定
- 問合せ先IPアドレスの手動設定
- DNSルーティング設定複数セッション時のDNS問合せ先指定

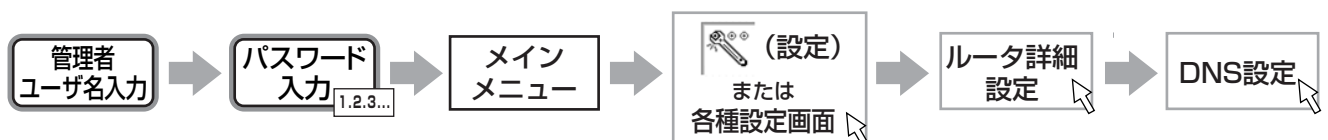
WAN側自動取得による設定は、WAN接続設定により自動取得したDNSの内容を使用します。

問合せ先IPアドレスの手動設定は、WAN接続設定では自動取得できない場合に、プロバイダから指定されたIPアドレスを設定します。

DNSルーティング設定は、インターネットとフレッツスクエアなど、マルチセッションを使用する場合に、DNSの問い合わせの振り分けを設定します。

DNS設定画面を表示するには

●管理者設定



●DNS設定

| 設定項目 | 説明 | 設定範囲 | 初期設定 |
|-----------------|--------------------------------------|------------------------------|--------|
| 問合せ先サーバ設定 | 問合せ先のDNSサーバのIPアドレスを設定する | プロバイダエントリから選択/手動 | 手動 |
| プライマリDNSサーバアドレス | 手動設定の場合、問合せ先のプライマリDNSサーバのIPアドレスを入力する | X.X.X.X X：0～255 10進数 | なし |
| セカンダリDNSサーバアドレス | 手動設定の場合、問合せ先のセカンダリDNSサーバのIPアドレスを入力する | X.X.X.X X：0～255 10進数 | なし |
| DNSルーティング設定 | 特定のドメインに対する問合せ先の振り分けを設定する | | |
| ドメイン文字列 | 振り分けを設定するドメイン文字列を入力する | 最大63文字（制御コード、スペースを除くASCII文字） | なし |
| 問合せ先DNS | 問合せ先のDNSをアドレス指定またはプロバイダエントリから設定する | アドレス指定／プロバイダエントリから選択 | アドレス指定 |
| 問合せ先DNSアドレス | 問合せ先のDNSがアドレス指定の場合IPアドレスを設定する | X.X.X.X X：0～255 10進数 | なし |

●ホストテーブル（最大64個）

| 設定項目 | 説明 | 設定範囲 | 初期設定 |
|--------|--------------------------|------------------------------|------|
| ホスト名 | テーブルに登録するホスト名を設定する | 最大32文字（制御コード、スペースを除くASCII文字） | なし |
| IPアドレス | ホスト名に対して割り付けるIPアドレスを登録する | X.X.X.X X：0～255 10進数 | なし |

ルータ設定をする

1

問合せ先サーバ設定

問合せ先のDNSサーバのIPアドレスの取得方法を選択します。
自動設定の場合は、「WAN接続設定」で取得したDNSサーバを使用します。
WAN接続設定のエントリを選択します。
手動設定の場合は、プライマリDNSサーバとセカンダリDNSサーバのIPアドレスを入力します。



お知らせ

- 問合せ先サーバ設定の手動設定は、接続先のプロバイダからDNSサーバの自動取得ができない場合や、すでにDNSサーバを運用中の場合などに使用します。

2

DNSルーティング設定

マルチセッションなどを使用して、複数のプロバイダと同時接続している場合に、特定のドメイン名またはホスト名の問合せ先DNSの振り分けを設定します。
最大16個まで設定することができます。

3

ホストテーブル

主装置で解決するホスト名とIPアドレスの組を入力します。
ホスト名とIPアドレスの組は、最大64個まで設定することができます。



ワンポイント

PPPoEのマルチセッションを利用して、フレッツ・スクエアを利用する場合は、以下の設定が必要です。

- フレッツ・スクエアのドメイン名をDNSルーティング設定へ設定する。
 - フレッツ・スクエアのネットワークアドレスをスタティックルート設定に設定する。
- フレッツ・スクエアのネットワークアドレスについては、NTT東日本・西日本のフレッツ・スクエア接続方法に関するホームページをご覧ください。



お知らせ

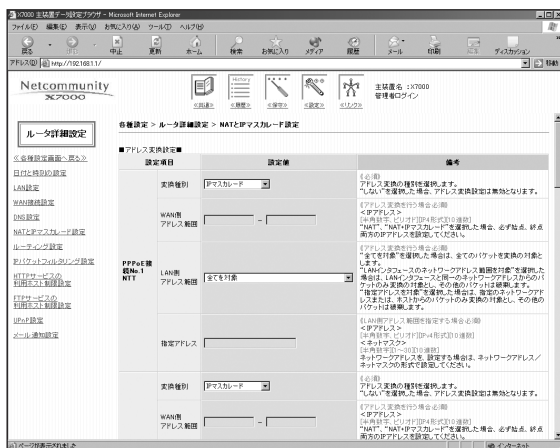
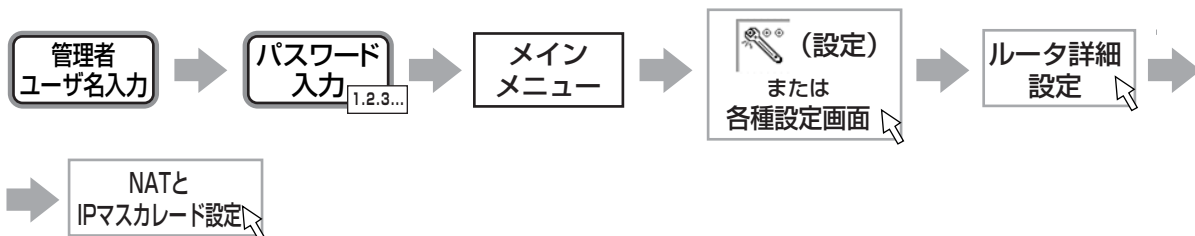
- お使いのパソコンが主装置のProxyDNS機能を利用しない場合は、DNSルーティングがご利用になれません。
- お使いのパソコンにDNS問い合わせ結果が保存されている場合は、DNSルーティングが正常に動作しないことがあります。
- お使いのパソコンにIPv6がインストールされている場合は、DNSルーティングが正常に動作しないことがあります。

NATとIPマスカレード設定

NATとIPマスカレードテーブルを設定することにより、1つのグローバルIPアドレスを使用して、LAN内の複数の端末からインターネットに接続したり、プロバイダから複数のグローバルIPアドレスを割り当てられた場合にLAN内のプライベートIPアドレスを設定した特定のホストとの静的アドレス変換、WAN側から発信されたIPパケットを、プロトコルやポート番号に応じてLAN内の特定のホストへ転送することができます。

NATとIPマスカレード設定画面を表示するには

●管理者設定



ルータ設定をする

●アドレス変換設定

| 設定項目 | 説明 | 設定範囲 | 初期設定 |
|-------------|--------------------------------------|--|----------|
| PPPoE接続 1～5 | PPPoEによる接続ごとにアドレス変換の設定をする | | |
| 変換種別 | アドレス変換の種別を選択する | IPマスカレード／NAT／NAT＋IPマスカレード／しない | IPマスカレード |
| WAN側アドレス範囲 | WAN側のグローバルIPアドレスが複数割り当てられる場合に範囲を設定する | X.X.X.X X：0～255 10進数 | なし |
| LAN側アドレス範囲 | アドレス変換の対象とするLAN側のIPアドレスを選択する | 全てを対象／LANインタフェースのネットワークアドレス範囲を対象／指定アドレスを対象 | 全てを対象 |
| 指定アドレス設定 | 特定の指定アドレスと通信する場合に設定する | X.X.X.X／ネットマスク X：0～255 10進数 | なし |
| 固定IP | 固定IPによる接続の場合にアドレス変換を使用するかしないかを設定する | | |
| 変換種別 | アドレス変換の種別を選択する | IPマスカレード／NAT／NAT＋IPマスカレード／しない | IPマスカレード |
| WAN側アドレス範囲 | WAN側のグローバルIPアドレスが複数割り当てられる場合に範囲を設定する | X.X.X.X X：0～255 10進数 | なし |
| LAN側アドレス範囲 | アドレス変換の対象とするLAN側のIPアドレスを選択する | 全てを対象／LANインタフェースのネットワークアドレス範囲を対象／指定アドレスを対象 | 全てを対象 |
| 指定アドレス設定 | 特定の指定アドレスと通信する場合に設定する | X.X.X.X／ネットマスク X：0～255 10進数 | なし |

●静的NATテーブル設定

| 設定項目 | 説明 | 設定範囲 | 初期設定 |
|-------------|-------------------------------------|-------------------------|------|
| グローバルIPアドレス | WAN側グローバルIPアドレスを設定する | X.X.X.X X：0～255 10進数 | なし |
| ローカルIPアドレス | グローバルIPアドレスと対応する変換するローカルIPアドレスを設定する | X.X.X.X X：0～255 10進数 | なし |

●静的IPマスカレードテーブル設定

| 設定項目 | 説明 | 設定範囲 | 初期設定 |
|--------|---|-------------------------|------|
| プロトコル | 変換するプロトコルを設定する | TCP/UDP/両方 | TCP |
| ポート | TCPまたはUDPのポート番号を設定する | 0～65535（10進数） | なし |
| IPアドレス | 上記のプロトコルおよびポート番号と一致したパケットに対してアドレス変換を行うIPアドレスを設定する | X.X.X.X X：0～255 10進数 | なし |

■アドレス変換設定PPPoE接続1～5／固定IP

PPPoE接続と固定IPによる接続の各接続先ごとにアドレス変換の設定をする

変換種別の設定内容は以下の通りです。

| 種別 | 変換内容 |
|--------------|--|
| IPマスカレード | 1つのグローバルIPアドレスを複数のLAN内の端末で共有する場合 |
| NAT | グローバルIPアドレスをLAN内の特定の端末とアドレス変換する場合 |
| NAT+IPマスカレード | 複数のグローバルIPアドレスのうち、1つをIPマスカレードによるアドレス変換に使用し、その他をNATによるアドレス変換に使用する場合 |
| しない | アドレス変換なし |

WAN側アドレス範囲は、プロバイダから複数のグローバルIPアドレスが割り当てられる場合に、アドレスの範囲を設定します。NATによる静的NATのグローバルIPアドレスは、この範囲から割り当てます。

LAN側アドレス範囲は、アドレス変換の対象とするLAN側のIPアドレスまたはネットワークアドレスの範囲を設定します。[LANインタフェースのネットワークアドレス範囲を対象]を選択した場合は、LANインタフェースと同一のネットワークアドレスからのパケットのみ変換の対象とし、その他のパケットは廃棄します。

[指定アドレスを対象]を選択した場合は、指定のネットワークアドレスまたはホストからのパケットのみ変換の対象とし、その他のパケットは廃棄します。

■静的NATテーブル設定

複数のグローバルIPアドレスを使用する場合に、LAN側の端末と静的にアドレス変換を行う場合に設定します。設定できるグローバルIPアドレスとローカルIPアドレスの組みの最大数は、16組を最大とし、WAN側アドレス範囲で設定した数の範囲で設定できます。

■静的IPマスカレードテーブル設定

WAN側から受信したIPパケットを、プロトコルとポート番号によりLAN内の特定のホストに転送する場合に設定します。

1

プロトコル

TCP／UDPのいずれか、または、両方を指定します。

2

ポート

TCPまたはUDPのポート番号を設定します。

3

IPアドレス

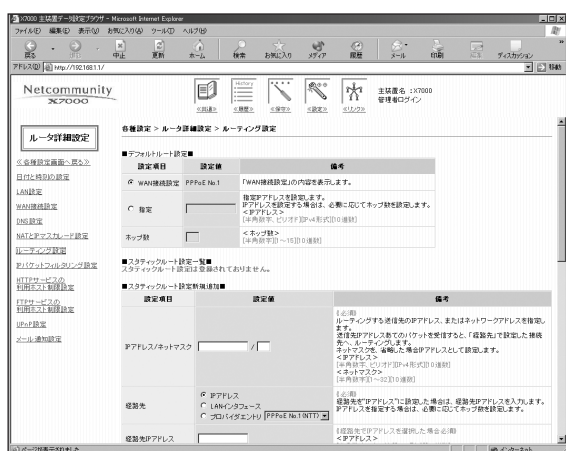
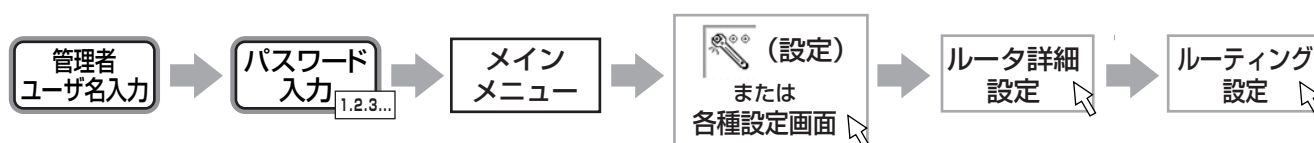
LAN側の転送するホストのIPアドレスを設定します。

ルーティング設定

ルーティングは、登録されたIPアドレスとネットマスクの設定やポート番号により、デフォルトルーティング／ホストルーティング／ネットワークルーティング／送信元アドレスルーティング／送信先ポート番号ルーティングを行います。

ルーティング設定画面を表示するには

●管理者設定



●デフォルトルート設定

| 設定項目 | 説明 | 設定範囲 | 初期設定 |
|---------|-----------------------|--------------------------|------|
| WAN接続設定 | 「WAN接続設定」の内容を表示する | — | — |
| 指定 | 経路先のIPアドレスを入力する | X.X.X.X X: 0~255 10進数 | なし |
| ホップ数 | 経路先の距離（コスト／ホップ数）を設定する | 1~15 | なし |

ルータ設定をする

●スタティックルート設定

| 設定項目 | 説明 | 設定範囲 | 初期設定 |
|-----------|---------------------------------------|-----------------------------|--------|
| IPアドレス | ルーティングする送信先のIPアドレスまたはネットワークアドレスを設定する | X.X.X.X X：0～255 10進数 | なし |
| ネットマスク | ネットマスクの値を設定する | 1～32 | なし |
| 経路先 | IPアドレス指定またはLANインタフェース／プロバイダエントリ名を選択する | IPアドレス／LANインタフェース／プロバイダエントリ | IPアドレス |
| 経路先IPアドレス | 経路先を「IPアドレス」とした場合に経路先のIPアドレスを設定する | X.X.X.X X：0～255 10進数 | なし |
| ホップ数 | 経路先との距離(コスト／ホップ数)を設定する | 1～15 | 1 |

●RIP設定

| 設定項目 | 説明 | 設定範囲 | 初期設定 |
|--------------|------------------------|--------|------|
| ダイナミックルーティング | ダイナミックルーティング有効/無効を選択する | 有効/無効 | 無効 |
| ルーティング情報送出 | LAN側へのルーティング情報の送出を選択する | する/しない | しない |

●ポリシールーティング設定

| 設定項目 | 説明 | 設定範囲 | 初期設定 |
|---------------|-----------------------|-------------------------|------|
| 送信先アドレス | 送信先のアドレスを設定する | X.X.X.X X：0～255 10進数 | なし |
| 送信元アドレス | 送信元のアドレスを設定する | X.X.X.X X：0～255 10進数 | なし |
| 送信先ポート番号 | 送信先のポート番号を設定する | 0～65535（10進数） | なし |
| 経路先設定 | 経路先の設定をする | | |
| プロバイダエントリから選択 | プロバイダを選択する | 指定／プロバイダエントリから選択 | 指定 |
| 経路先IPアドレス | 経路先のIPアドレスを入力する | X.X.X.X X：0～255 10進数 | なし |
| ホップ数 | 経路先の距離(コスト／ホップ数)を設定する | 1～15 | 1 |

■デフォルトルート設定

1

デフォルトルート設定

デフォルトルートの設定をします。プロバイダエントリから選択、または、指定IPアドレスを設定することができます。IPアドレスを指定する場合は、必要に応じてホップ数を設定します。

■スタティックルート設定

1

IPアドレス

ルーティングする送信先のIPアドレスまたはネットワークアドレスを指定します。ここで設定した送信先IPアドレスあてのパケットを受信すると、「経路先」で設定した接続先へルーティングします。

2

経路先

経路先を選択します。

3

経路先IPアドレス

経路先を「IPアドレス」に設定した場合は、経路先IPアドレスを入力します。

4

ホップ数

ホップ数を入力します。

■RIP設定

RIPによるルーティング情報の送受信をする場合に設定します。

1

ダイナミックルーティング

RIPによるダイナミックルーティング機能の「有効」または「無効」を選択します。

2

ルーティング情報送出

LAN側へのルーティング情報の送出を行う場合は、「する」を選択します。

■ポリシールーティング設定

送信先や送信元のIPアドレス、送信先のポート番号によりルーティングをする場合に設定します。

1

送信先アドレス

送信先のIPアドレスを入力します。

2

送信元アドレス

送信元のIPアドレスを入力します。

3

送信先ポート番号

送信先のポート番号を入力します。

4

経路先設定

送信先アドレス、送信元アドレス、送信先ポート番号で指定したIPパケットの送信先経路を設定します。
プロバイダエントリから選択するか、IPアドレスを指定します。必要に応じてホップ数を設定します。

ルータ設定をする

●IPパケットフィルタリング設定

| 設定項目 | 説明 | 設定範囲 | 初期設定 |
|-----------|--|--------------------------------------|-------|
| インタフェース選択 | フィルタリング設定を行うインタフェースを選択する | LAN側／プロバイダエントリ No.1～5／固定IP | LAN側 |
| 方向 | フィルタリング設定を適用する方向を選択する | 入力／出力 | 入力 |
| 動作 | フィルタリング設定の動作を選択する | 遮断／透過 | 遮断 |
| 送信先設定 | フィルタリングするIPパケットの送信先のアドレス情報を設定する | | |
| IPアドレス | IPアドレスまたはネットワークアドレスを設定する | 指定無し／アドレス入力 | 指定無し |
| ネットマスク | IPアドレスがネットワークアドレスの場合、ネットマスクの値を設定する | 指定無し／1～32 | 指定無し |
| 範囲選択 | フィルタリングするポート番号の適用範囲を選択する | 等しい：＝ より小さい：＜ より大きい：＞ 範囲：＞＜ | 等しい：＝ |
| ポート番号 | フィルタリングするポート番号を設定する。範囲選択で“範囲”を選択した場合はポート番号をスペースで区切り2つ入力する。指定無しの場合は、範囲選択は無効 | 指定無し／ 0～65535（10進数） | 指定無し |
| 送信元設定 | フィルタリングするIPパケットの送信元のアドレス情報を設定する | | |
| IPアドレス | IPアドレスまたはネットワークアドレスを設定する | 指定無し／アドレス入力 | 指定無し |
| ネットマスク | IPアドレスがネットワークアドレスの場合、ネットマスクの値を設定する | 指定無し／1～32 | 指定無し |
| 範囲選択 | フィルタリングするポート番号の適用範囲を選択する | 等しい：＝ より小さい：＜ より大きい：＞ 範囲：＞＜ | 等しい：＝ |
| ポート番号 | フィルタリングするポート番号を設定する。範囲選択で“範囲”を選択した場合はポート番号をスペースで区切り2つ入力する。指定無しの場合は、範囲選択は無効 | 指定なし／ 0～65535（10進数） | 指定無し |
| AND/OR | 送信先設定と送信元設定をANDまたはORで適用するか選択する | AND/OR | OR |
| プロトコル | フィルタリングを適用するプロトコルを設定する | 指定無し／TCP／UDP／ICMP／その他（0～133） | 指定無し |
| TCPフラグ | TCPコネクションのフラグによるフィルタリングを設定する | URG／ACK／PSH／RST／SYN／FIN | 指定無し |
| ログ | フィルタリング設定のログ記録を設定する | する／しない | しない |

1

インタフェース選択

フィルタリング設定を適用するインタフェースを選択します。LAN側またはWAN接続設定で設定したエントリを選択します。

2

方向

選択したインタフェースに対して、フィルタリング設定を適用する方向を選択します。
方向は「入力」または「出力」から選択します。

3

動作

フィルタリング設定を適用するIPパケットに対する動作を選択します。「遮断」または「透過」を選択します。

4

送信先設定、送信元設定

フィルタリング設定を適用するIPパケットの送信先、送信元の情報を設定します。
IPアドレス、ネットマスク、ポート番号を設定できます。
IPアドレスは、ホストアドレスまたはネットワークアドレスを設定できます。ホストアドレスの場合は、ネットマスクの値に32を指定してください。ネットワークアドレスの場合は、ネットワークアドレスのマスク値を指定してください。
選択範囲とポート番号は、フィルタリングの対象とするポート番号に関する設定をします。
選択範囲が“=”：設定したポート番号に一致するIPパケットが対象となります。
選択範囲が“<”：設定したポート番号より小さい値のIPパケットが対象となります。
選択範囲が“>”：設定したポート番号より大きい値のIPパケットが対象となります。
選択範囲が“><”：設定したポート番号の範囲のIPパケットが対象となります。範囲を指定する2つの数値をスペースで区切って入力します。
IPアドレス、ネットマスク、ポート番号のフィールドが空の場合は、“指定無し”となります。
選択範囲が“指定無し”の場合は、ポート番号の値は無効となります。

5

AND/OR

送信先設定と送信元設定の内容に「AND」または「OR」を適用します。

6

プロトコル

フィルタリングを適用するプロトコルを指定します。「TCP」「UDP」「ICMP」「その他」または「指定無し」を選択します。「指定無し」の場合は、すべてのプロトコルが対象となります。

7

TCPフラグ

TCPコネクションの状態を監視して、フィルタリングをする設定です。

8

ログ

フィルタリング設定に該当したIPパケットがあった場合にログを記録することができます。

9

適用インタフェース選択

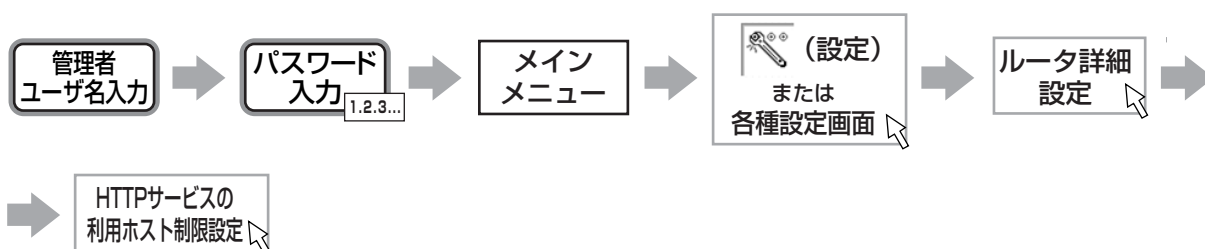
IPパケットフィルタリングを適用するインターフェースを選択します。

HTTPサービスの利用ホスト制限設定

HTTPサービスの利用ホスト制限の設定を行います。HTTPサービスは、主装置のデータ設定画面で使用します。

HTTPサービスの利用ホスト制限設定画面を表示するには

●管理者設定



| 設定項目 | 説明 | 設定範囲 | 初期設定 |
|------------|------------------------|---|--------------|
| 利用を許可するホスト | 常に利用を許可するホストを選択する | LAN側ネットワーク内であれば許可する／WAN側ネットワーク内であれば許可する／指定したIPアドレスを許可する | LAN側であれば許可する |
| IPアドレス指定 | 指定したIPアドレスを許可するときに入力する | X.X.X.X/Y X：0～255 10進数 Y：ネットマスク 1～32 | なし |

1

利用を許可するホスト

以下の項目を追加で選択することができます。

- ・ WAN側ネットワーク内であれば許可する
- ・ 指定したIPアドレスを許可する



お知らせ

- LAN設定で設定したIPアドレスと同一のサブネットワークは、常に許可しています。
- 「WAN側ネットワーク内であれば許可する」を指定した場合、WANインタフェースに固定IPアドレスを設定する必要があります。

2

IPアドレス指定

〔指定したIPアドレスを許可する〕を選んだときに、そのIPアドレスを入力します。サブネットワーク全体に許可する場合は、ネットワークアドレスを入力します。

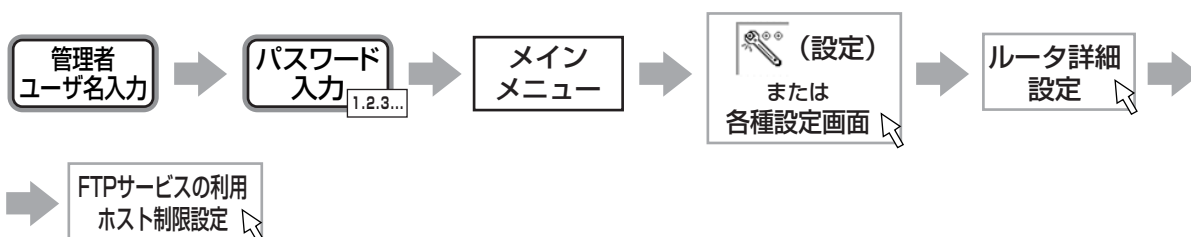
ネットワークアドレスを設定する場合は、〔ネットワークアドレス／ネットマスク〕の形式で設定してください。複数のIPアドレス、または、ネットワークアドレスを設定する場合は、スペースで区切って入力します。

FTPサービスの利用ホスト制限設定

FTPサービスの利用ホスト制限の設定を行います。FTPサービスは、IP多機能電話機、無線アクセスポイント、無線ステーションなどのバージョンアップソフトのダウンロードなどで使用します。

FTPサービスの利用ホスト制限設定画面を表示させるには

●管理者設定



| 設定項目 | 説明 | 設定範囲 | 初期設定 |
|------------|-----------------------------------|---|--------------|
| 利用を許可するホスト | 利用を許可するホストを選択する | LAN側ネットワーク内であれば許可する／WAN側ネットワーク内であれば許可する／指定したIPアドレスを許可する | LAN側であれば許可する |
| IPアドレス指定 | 指定したIPアドレスまたはサブネットワークを許可するときに入力する | X.X.X.X/Y X：0～255 10進数 Y：ネットマスク 1～32 | なし |

1

利用を許可するホスト

以下の項目を追加で選択することができます。

- ・WAN側ネットワーク内であれば許可する
- ・指定したIPアドレスを許可する



お知らせ

- LAN設定で設定したIPアドレスと同一のサブネットワークは、常に許可しています。
- 「WAN側ネットワーク内であれば許可する」を指定した場合、WANインタフェースに固定IPアドレスを設定する必要があります。

2

IPアドレス指定

「指定したIPアドレスを許可する」を選んだときに、そのIPアドレスを入力します。サブネットワーク全体に許可する場合は、ネットワークアドレスを入力します。

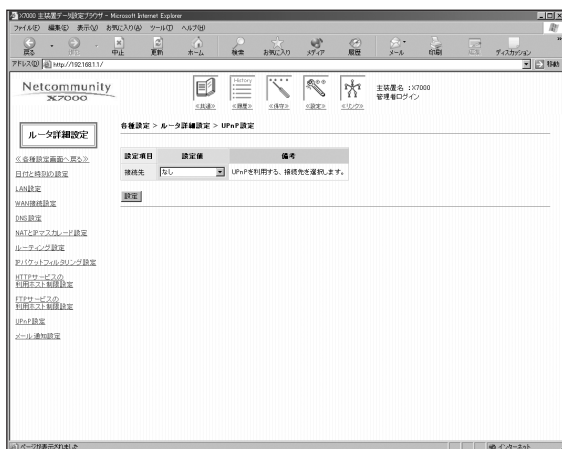
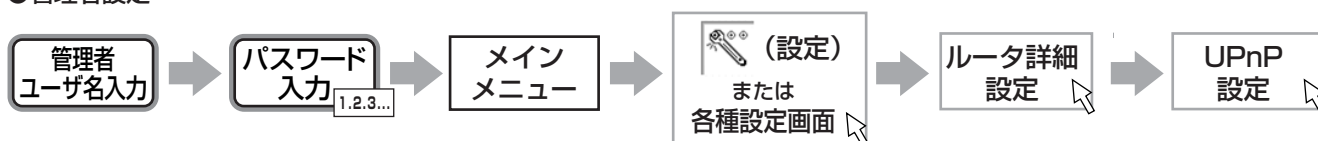
ネットワークアドレスを設定する場合は、[ネットワークアドレス/ネットマスク] の形式で設定してください。複数のIPアドレス、または、ネットワークアドレスを設定する場合は、スペースで区切って入力します。

UPnP設定

UPnPの設定は、UPnP(Universal Plug and Play)を利用する接続先を選択します。

UPnP設定画面を表示するには

●管理者設定



| 設定項目 | 説明 | 設定範囲 | 初期設定 |
|---------|-------------------|---------|------|
| UPnP接続先 | UPnPを利用する接続先を選択する | なし／接続先名 | なし |

1 UPnP設定

UPnPを利用する接続先をプルダウンメニューから選択します。



お知らせ

●Netcommunity SYSTEM X7000でUPnP機能により利用できる機能を以下に示します。

| 機能 | Windows Messenger (Windows® XP) | MSN Messenger (Windows® Me) |
|-------------|---------------------------------|-----------------------------|
| インスタントメッセージ | ○ | ○ |
| 音声チャット | ○ | ○ |
| ファイル送信 | × | × |
| 電話をかける | × | × |
| ビデオチャット | ○ | — |
| アプリケーション共有 | ○ | — |
| ホワイトボード | ○ | — |
| リモートアシスタンス | ○ | — |

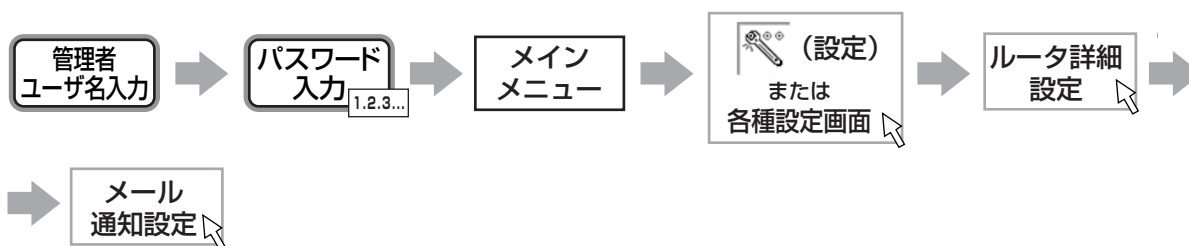
●UPnP対応のソフトウェア、機器によっては、ご利用になれないものがあります。

メール通知設定

着信通知メールで使用する送信先メールサーバの設定を行います。

メール通知設定画面を表示させるには

●管理者設定



●メール通知設定

| 設定項目 | 説明 | 設定範囲 | 初期設定 |
|-------------------------------|--|---|------|
| 送信メールサーバアドレス | 送信メール（SMTP）サーバのIPアドレス、またはホスト名を設定する | IPアドレス：X.X.X.X X：0～255 10進数 ホスト名：最大63文字（制御コード、スペースを除くASCII文字） | — |
| メールアドレス | プロバイダのメールアドレスを設定する | 最大128文字 | — |
| POP before SMTP | POP before SMTPを使用する場合に設定する | 指定無し／POP before SMTPを使用する | 指定無し |
| メールアカウント | POP before SMTPを使用する場合に、メールアカウントを設定する | 最大32文字（制御コード、スペースを除くASCII文字） | — |
| メールアカウントパスワード／メールアカウントパスワード確認 | POP before SMTPを使用する場合に、メールアカウントのパスワードを設定する | 最大32文字（制御コード、スペースを除くASCII文字） | — |
| POPサーバアドレス | POP before SMTPを使用する場合に、POPサーバのIPアドレス、またはホスト名を設定する | IPアドレス：X.X.X.X X：0～255 10進数 ホスト名：最大63文字（制御コード、スペースを除くASCII文字） | — |

ルータ設定をする

1

送信メールサーバアドレス

送信メール（SMTP）サーバのIPアドレス、またはホスト名を設定します。

2

メールアドレス

プロバイダのメールアドレスを設定します。

3

POP before SMTP

メール送信時に、POP認証が必要な場合に設定します。

4

メールアカウント

POP before SMTPにチェックを入れた場合に、POP認証に使用するメールアカウントを設定します。

5

メールアカウントパスワード／メールアカウントパスワード確認

POP before SMTPにチェックを入れた場合に、POP認証に使用するメールアカウントのパスワードを設定します。

6

POPサーバアドレス

POP before SMTPにチェックを入れた場合に、POPサーバのIPアドレス、またはホスト名を設定します。



お知らせ

- X7000のメール機能は、送信専用です。POP認証のメールアカウントとメールアカウントパスワードは、メール送信時の認証に使用するものです。メールの受信処理は行いません。

主装置の運用方法について

メインメニューからマニュアル操作やレポート表示が可能です。

運用時に利用できる操作

●運用時に利用できる操作は以下のとおりです。

- 主装置情報
- 手動アップロード
- 設定データ一覧
- 管理者アカウント設定
- システムデータバックアップ／リストア
- リモートメンテナンス
- 再起動
- 主装置動作ログ表示
- IP電話ログ表示
- IP電話接続・切断
- PING
- PPPoEマニュアル接続
- レポート表示
- ルータ設定一覧表示

1
電話機能
一覧

2
IP電話
機能
設定
を電

3
電話機能
設定
を行う

4
ルータ機能
設定
を行う

5
主装置の運用

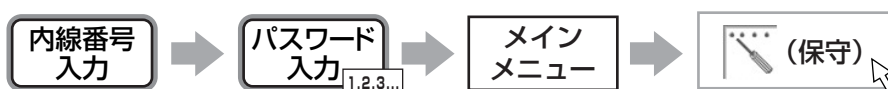
6
ご参考に

主装置情報

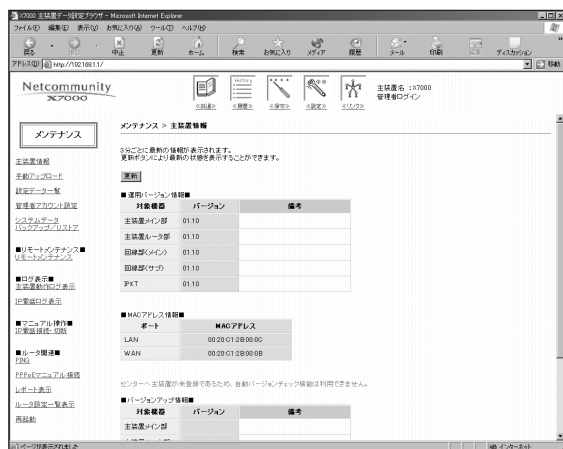
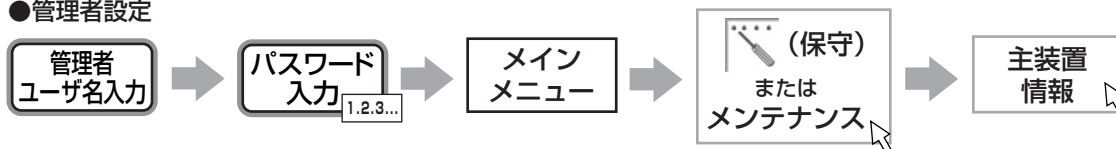
主装置の情報（ソフトウェアバージョンやMACアドレス）を参照することができます。

主装置情報画面を表示させるには

●ユーザ設定



●管理者設定



1 [更新] をクリックする（管理者のみ）

最新の主装置情報が表示されます。表示されるのは、次の内容です。

- 運用バージョン情報（対象機器・バージョン）
- MACアドレス情報（ポート・MACアドレス）
- バージョンアップ情報（対象機器・バージョン）

※バージョンアップ情報は管理者設定のみです。



ワンポイント

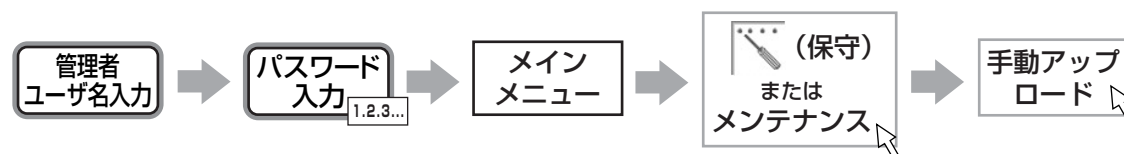
- 主装置情報は、3分ごとに最新の情報が表示されます。
- バージョンアップ通知がある場合は、画面にバージョンアップが表示されます。[バージョンアップ]をクリックすると、バージョンアップファイルをダウンロードしてバージョンアップを行います。（リモートメンテナンスご契約の場合）
- [ダウンロードの中断]をクリックすると、バージョンアップファイルのダウンロードを中断します。

手動アップロード

手動で主装置バージョンアップファイルのアップロードを行います。

手動アップロード画面を表示させるには

●管理者設定



1

バージョンアップファイルを指定する

[参照] をクリックして、バージョンアップファイルを指定します。

2

アップロードする

[アップロード] をクリックし、バージョンアップファイルをアップロードします。



ワンポイント

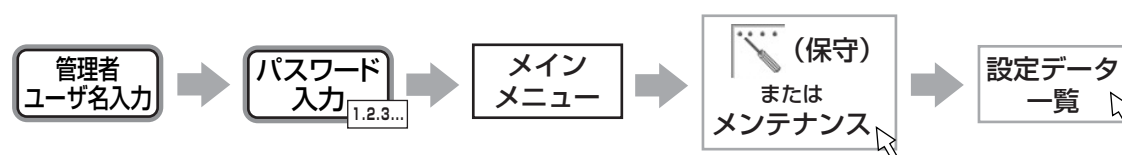
- ファイルの参照、アップロードは対象機器ごとに行ってください。
- バージョンアップは、ファイルアップロード後、「主装置情報」で行ってください。バージョンアップのご利用方法につきましては、お客様に別途お知らせいたします。

設定データ一覧

主装置の設定データ（特番や回線の設定データ）を確認することができます。

設定データ一覧画面を表示させるには

●管理者設定



■表示される設定データ

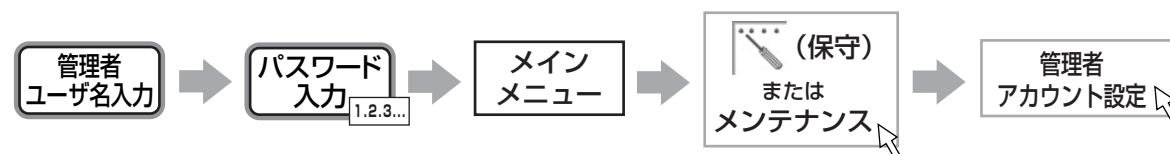
- 特番一覧
- 回線系設定データ一覧
- リモートメンテナンス設定データ一覧

管理者アカウント設定

管理者アカウントのパスワードの設定を行うことができます。

管理者アカウント設定画面を表示させるには

●管理者設定



1 ログインパスワードを入力する

入力形式に従い、ログインパスワードを設定します。

2 ログインパスワードを更新する

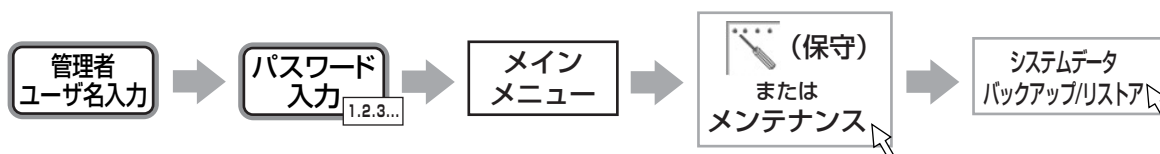
[更新] をクリックすると、ログインパスワードが更新されます。

システムデータバックアップ／リストア

主装置に設定された、設定データのバックアップまたはリストアを行うことができます。

システムデータバックアップ／リストア画面を表示させるには

●管理者設定



バックアップする

1

[バックアップ] をクリックすると、設定データとスケジュール、共通／個人電話帳をバックアップします。バックアップファイルが作成され、ダウンロード確認画面が表示されます。バックアップファイルを保存する場所を指定してダウンロードしてください。

リストアする

2

[リストア] をクリックすると、設定データファイルをリストアします。リストアするファイルは[参照] をクリックして、指定してください。リストア後、主装置は自動的に再起動されます。



ワンポイント

- リストアに指定できるファイルは設定データバックアップファイルのみです。



お知らせ

- 設定データをバックアップした後にデータ設定やスケジュール、共通／個人電話帳登録を行い、リストアを実行すると、バックアップ後に設定や登録したデータやスケジュール、共通／個人電話帳は消去されますので注意してください。
- リストアを行うと、主装置が再起動されます。
一時的に電話機がご利用できなくなりますので、注意してください。

主装置を再起動するには

主装置の再起動画面を表示するには

●管理者設定



再起動するための条件を選択する

1



「再起動」をクリックする

2



3

Webブラウザを閉じて、数分後に、再度Webブラウザでログインする

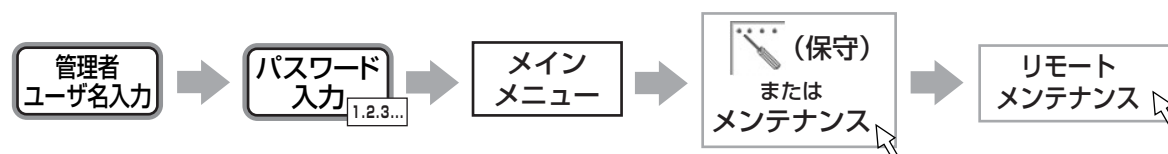
リモートメンテナンス

リモートメンテナンスサービスについて契約されているお客様の主装置に対して、保守センタからリモートメンテナンスの開始または終了を行うことができます。

リモートメンテナンスサービスをご利用になるには、契約が必要です。
サービスのご利用方法につきましては、リモートメンテナンスサービスをご契約のお客様に別途お知らせいたします。

リモートメンテナンス画面を表示させるには

●管理者設定



1

【更新】をクリックする

最新のリモートメンテナンス動作状況を表示します。

2

【リモートメンテナンス開始】をクリックする

リモートメンテナンスを開始します。

3

【リモートメンテナンス終了】をクリックする

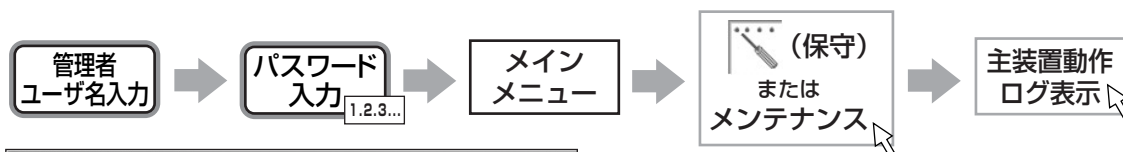
リモートメンテナンスを終了します。

ログ表示：主装置動作ログ表示

主装置の動作状況を確認することができます。

主装置動作ログ表示画面を表示させるには

●管理者設定



ワンポイント

主装置動作ログ表示

- [クリア] をクリックするとログ情報がクリアされます。
- 主装置の動作履歴が表示されます。(最大160行表示)

画面表示される主な情報は次のとおりです。

| | |
|-----------------|-----------------------------------|
| 「システム起動」 | ： システムが正しく起動したことを表します。 |
| 「ISP接続」 | ： ISPとのPPPoEが接続完了したことを表します。 |
| 「ISP切断」 | ： ISPとのPPPoEが切断したことを表します。 |
| 「ISP認証 成功」 | ： ISPとの接続で認証ネゴシエーションが成功したことを表します。 |
| 「ISP認証 失敗」 | ： ISPとの接続で認証ネゴシエーションが失敗したことを表します。 |
| 「ISDN使用可能」 | ： ISDNが使用可能となったことを表します。 |
| 「ISDN使用不可」 | ： ISDNが使用不可となったことを表します。 |
| 「IP電話サービス接続」 | ： IP電話サービスに接続完了したことを表します。 |
| 「IP電話サービス切断」 | ： IP電話サービスが切断したことを表します。 |
| 「IP電話サービス認証 成功」 | ： IP電話サービスの認証が成功したことを表します。 |
| 「IP電話サービス認証 失敗」 | ： IP電話サービスの認証が失敗したことを表します。 |



お知らせ

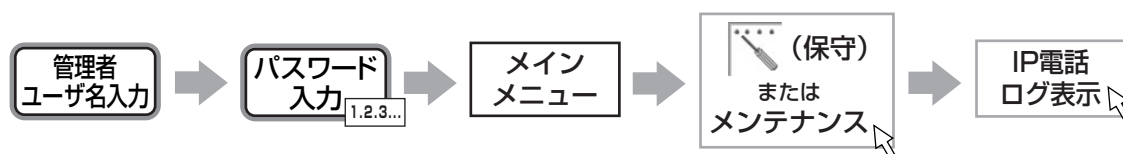
- 主装置の電源を切ったり、再起動を行うとログ情報はクリアされます。

ログ表示：IP電話ログ表示

IP電話サービスの動作状況や履歴を確認することができます。

IP電話ログ表示画面を表示させるには

●管理者設定



ワンポイント

- [クリア] をクリックするとログ情報がクリアされます。



お知らせ

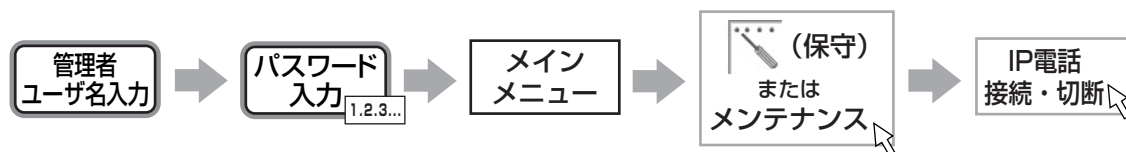
- 主装置の電源を切ったり、再起動を行うとログ情報はクリアされます。

マニュアル操作：IP電話接続・切断

手動操作により、IP電話サービスを一時的に切断することができます。

IP電話接続・切断画面を表示させるには

●管理者設定



1

【接続】をクリックしてIP電話サービスと接続する

ネットワークに正常登録できると、IP多機能電話機のディスプレイ表示「IP電話未接続」が消え、IP電話サービスが利用できます。

2

【切断】をクリックしてIP電話サービスと切断する

IP電話サービスが使用できなくなります。IP多機能電話機のディスプレイには、「IP電話未接続」が表示されます。PPPoE常時接続の場合には、「切断」後、自動的に「接続」されて「IP電話未接続」の表示が消え、IP電話サービスが利用できるようになります。

3

【更新】をクリックする

最新のIP電話接続先状態を表示することができます。



ワンポイント

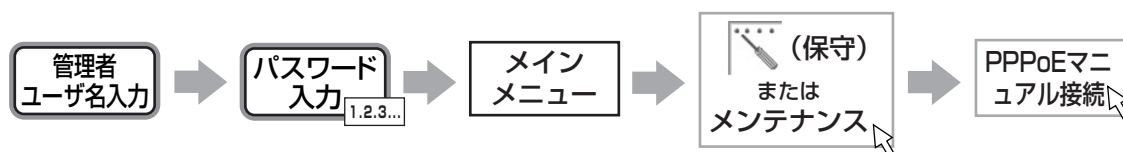
●接続状態は、6秒ごとに最新の情報が表示されています。

PPPoEマニュアル接続を行うには

PPPoEを使用して接続する接続先を指定して、PPPoEによりマニュアルで接続と切断を行うことができます。

PPPoEマニュアル接続画面を表示させるには

●管理者設定



1

「PPPoEマニュアル接続」でプロバイダエントリを選択する

一覧から選択します。

2

「接続」または「切断」をクリックする

マニュアル接続またはマニュアル切断を行い、その結果を表示します。



お知らせ

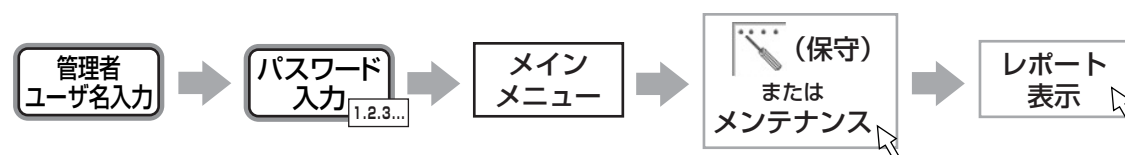
- PPPoEによる接続設定において、自動接続を有効にして主装置を再起動した場合は、マニュアルで切断した場合でも、自動で再接続します。自動で接続させたくない場合はPPPoEの接続設定の自動接続を無効にして、設定を保存してから切断してください。

レポート表示を行うには

レポート表示では、各種統計情報やログなどを表示することができます。

レポート表示画面を表示させるには

●管理者設定



1 「レポート表示」をクリックする

レポート表示メニューが表示されます。

表示する項目を選択する

表示したい項目をメニューの中から選択してください。

- | | |
|----------------|------------------------------|
| 「接続先情報」 | : 接続先の状態を表示します。 |
| 「パケット統計情報」 | : 各接続先の送受信パケット数を表示します。 |
| 「ログ表示」 | : 主装置の動作履歴を表示します。 |
| 「IPルーティング情報」 | : ルーティング情報を表示します。 |
| 「DNSキャッシュテーブル」 | : DNSキャッシュテーブルの登録内容を表示します。 |
| 「DHCP割り付け状態」 | : DHCPによるIPアドレス割り付け状態を表示します。 |
| 「ARPテーブル」 | : ARPテーブルの登録内容を表示します。 |

■接続先情報を表示する場合

接続先の状態を表示します

1

レポート表示メニューで「接続先情報」を選択する

接続状態を表示します。

「LAN接続状態」：LANの状態を表示します。

「接続先状態」：使用中の接続先の状態を表示します。

■パケット統計情報を表示する場合

接続先の送受信パケット数を表示します。

1

レポート表示メニューで「パケット統計情報」を選択する

- LANおよび接続先の統計情報が表示されます。
- 画面表示される情報は次のとおりです。
「累計」：インタフェースで送信／受信したパケット数
「失敗」：送信／受信でエラーが発生したパケット数
「破棄」：バッファ不足により受信できなかったパケット数



お知らせ

- 「クリア」をクリックするとすべてのパケット統計情報がクリアされます。
- 「失敗」や「破棄」の値が多い場合は、ネットワークのトラフィックが異常に高くなっている可能性があります。

■ログ表示を表示する場合

主装置のルータ機能の動作履歴を表示します。

1

レポート表示メニューで【ログ表示】を選択する

主装置の動作履歴が表示されます。



お知らせ

- 【クリア】をクリックするとすべてのログ情報がクリアされます。
- ログ表示は電源を切るとクリアされます。

■IPルーティング情報を表示する場合

ルーティング情報を表示します。

1

レポート表示メニューで【IPルーティング情報】を選択する

設定した接続先IPルーティング情報、スタティックIPルーティング情報、および学習したダイナミックIPルーティング情報が表示されます。

■DNSキャッシュテーブルを表示する場合

DNSキャッシュテーブルの登録内容を表示します。

1

レポート表示メニューで【DNSキャッシュテーブル】を選択する

保存されているドメイン名とIPアドレスの組が表示されます。

■DHCP割り付け状態を表示する場合

DHCPによるIPアドレス割り付け状態を表示します。

「削除」をクリックすることにより、選択したDHCP割り付け情報を削除します。使用されていないIPアドレスを削除することにより、再度割り付けが可能です。

「保存」をクリックすることにより、DHCPの割り付け情報をフラッシュメモリへ保存します。再起動などによりフラッシュメモリからDHCPの情報を読み出すため、以前に割り当てた同じアドレスを割り付けることができます。

●割り付け表示の状態は、次のようになります。

- ・リース中 : 割り当てたIPアドレスを持っている状態
- ・リース終了 : リース時間の期限切れ、もしくは返却されたIPアドレス
- ・重複 : 重複したIPアドレスを持っている状態
(割り当てるときに、ネットワーク上に同じIPアドレスを持つ端末が存在する状態)

1

レポート表示メニューで「DHCP割り付け状態」を選択する

DHCP割り付け状態が表示されます。

■ARPテーブルを表示する場合

ARPテーブルの登録内容を表示します。

1

レポート表示メニューで「ARPテーブル」を選択する

キャッシュされているIPアドレスとMACアドレスの組が表示されます。



お知らせ

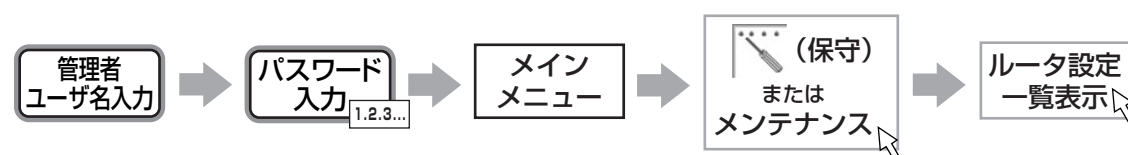
- 表示されたテーブルからエントリを選択し、「削除」をクリックするとARPテーブルからクリアされます。

ルータ設定一覧表示を行うには

ルータの設定されているデータを一覧表示します。設定が有効なデータのみを表示します。

ルータ設定一覧表示画面を表示させるには

●管理者設定



設定されているデータが一覧表示されます。

画面表示される情報は次のとおりです。

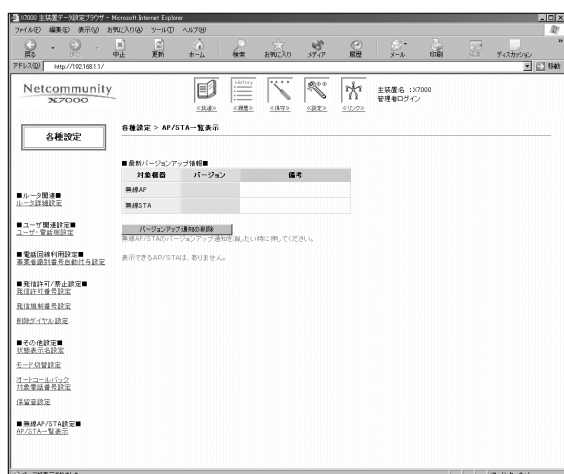
- LAN設定
- WAN接続設定
- ルーティング設定
- DHCPサーバ設定
- DNS設定
- NATとIPマスカレード設定
- IPパケットフィルタリング設定
- HTTPサービスの利用ホスト制限設定
- FTPサービスの利用ホスト制限設定
- UPnP設定
- メール通知設定

AP/STA一覧表示を行うには

無線アクセスポイントと無線ステーションの接続・設定状況を一覧表示します。

AP/STA一覧表示画面を表示させるには

●管理者設定



AP/STA一覧表示

●最新バージョンアップ情報

- ・対象機器
- ・バージョン

●AP/STA一覧表示

- ・機器
- ・IPアドレス
- ・MACアドレス
- ・名称
- ・バージョン
- ・リンク



お知らせ

- 設定を変更するときはリンクの「機器設定画面へ」をクリックして、それぞれの設定画面を表示させてください。AP/STAの設定については「無線アクセスポイント・無線ステーション 取扱説明書」(P43)を参照してください。

リモートメンテナンスサービスについて

リモートメンテナンスサービスは、保守センタとメンテナンスサービスについて契約されているお客様の主装置に対して、インターネットを利用したメンテナンスを行うサービスです。

サービス内容

リモートメンテナンスは、あらかじめユーザ情報と主装置を登録しておくことにより、次のようなサービスを受けることができます。(別途お申し込みが必要です。順次サービス開始予定。)

●主装置ソフトウェアのバージョンチェックと自動ダウンロード

定期的にバージョンのチェックを行い、自動的にファイルをダウンロードします。また、新しい主装置の登録時や主装置の再起動時にも自動的に主装置ソフトウェアのバージョンチェックを行い、自動的にファイルをダウンロードします。

自動ダウンロード完了後は、主装置のINFOランプが橙点灯し、データ設定画面の「主装置情報」に情報が表示されます(●P66)。自動ダウンロード完了後、バージョンアップを実行するには、「主装置情報」画面で手動で行います。

●リモートメンテナンス

リモートメンテナンスを要求されると、データ設定にアクセスしてシステムの設定を変更します。

1
機電
能話
一
覧

2
行話
機P
の多
設機
定能
を電

3
設電
定話
を機
行能
うの

4
設ル
定ー
を行タ
う機能
の

5
主
装
置
の
運
用

6
ご
参
考
に



お知らせ

- 主装置ソフトウェアのバージョンアップ時は、一時的に電話機が利用できなくなるため、お客様のご都合に合わせて、手動で行ってください。

Windows® 2000/Windows® Me

■必要な準備

データ設定を利用して、電話とインターネットの設定を行う場合には、パソコン側で以下の準備が必要です。

| Windows® 2000/Windows® Me | |
|---------------------------|--|
| LANカード／ボード | パソコンに装着されていることが必要です。お使いのパソコンに適するLANカード／ボードをご用意ください。 |
| Webブラウザ | 市販品やフリーウェアなどをご用意ください。 主装置の設定を行う場合には、次のWebブラウザを推奨します。 <ul style="list-style-type: none"> • Microsoft Internet Explorer 5.5 (SP-2) 以上 • Netscape Navigator 6以上 |
| LANケーブル | 主装置とパソコン、またはHUBを接続するときに必要です。 |
| インターネットサービスプロバイダとの契約 | インターネット接続を行う場合、インターネットにアクセスするサービスを提供するプロバイダとの契約が必要です。 |



ワンポイント

○Windows® XPの設定を行うには

「パソコンを接続する」(基本編 P101) を参照してください。



お知らせ

- ここでの説明は、一例を示しています。詳細は、ソフトウェアメーカー、パソコンメーカー、LANカード/ボードメーカー、インターネットサービスプロバイダなどにお問い合わせください。
- TCP/IPプロトコルおよびLANカード／ボードのソフトウェア(ネットワークドライバ)のインストールには、Windows® 2000/Windows® MeのCD-ROMまたは、フロッピーディスクやLANカード／ボードメーカーから提供されたフロッピーディスクが必要になる場合があります。
- Windows® XPは、Microsoft® Windows® XP operating systemの略です。
- Windows® 2000は、Microsoft® Windows® 2000 operating systemの略です。
- Windows® Meは、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating systemの略です。

■Windows® 2000

主装置の設定を行う前に必要に応じてお使いのパソコンで次のような操作を行ってください。

パソコンを起動する

パソコンの電源を入れ、起動します。デスクトップ画面の表示になります。

LANカード／ボードの設定を行う

すでにLANカード／ボードを使用している場合は、「TCP/IPのインストールを行う」へ進んでください。

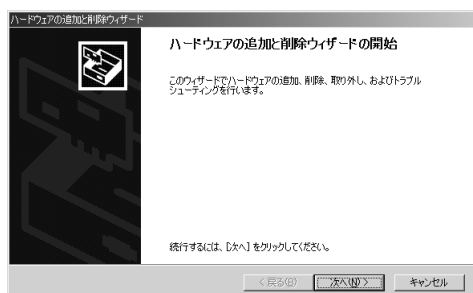
1

【スタート】をクリックして、【設定】 — 【コントロールパネル】をクリックする
「コントロールパネル」が表示されます。

2

【ハードウェアの追加と削除】をダブルクリックする

「ハードウェアの追加と削除ウィザードの開始」が表示されます。



3

画面に表示される指示に従って、LANカード／ボードの設定をする



お知らせ

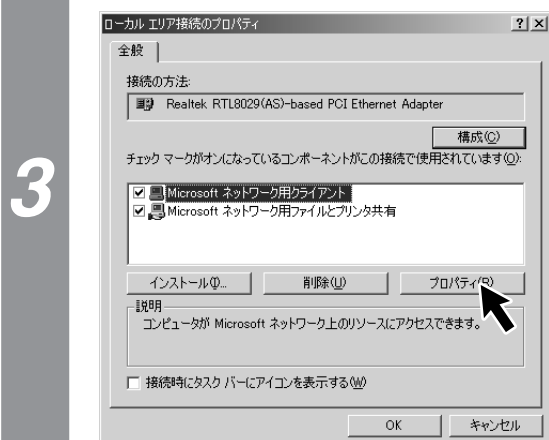
- お使いのLANカード／ボードの取扱説明書を参照し、指示に従って選択してください。

TCP/IPのインストールを行う

1 [スタート] をクリックして、[設定] — [コントロールパネル] をクリックする
「コントロールパネル」が表示されます。

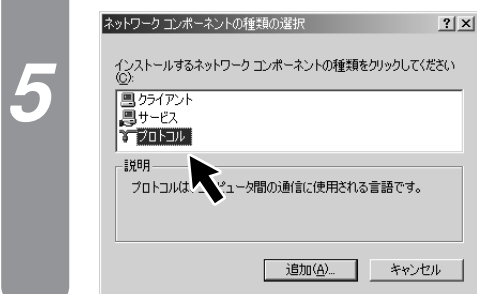
2 コントロールパネルの「ネットワークとダイヤルアップ接続」をダブルクリックする
「ネットワークとダイヤルアップ接続」が表示されます。

「ローカルエリア接続」を右クリックし、[プロパティ] をクリックする
「ローカルエリア接続のプロパティ」が表示されます。



4 「インターネットプロトコル (TCP/IP)」があるか確認する
ある場合は「TCP/IPの設定を行う」へ進んでください。

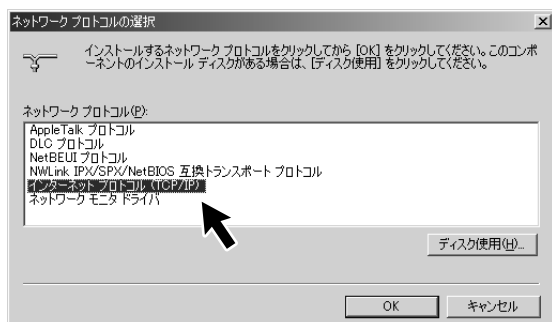
「インストール」をクリックする
「ネットワークコンポーネントの種類の選択」が表示されます。



6

【プロトコル】を選択し、【追加】をクリックする

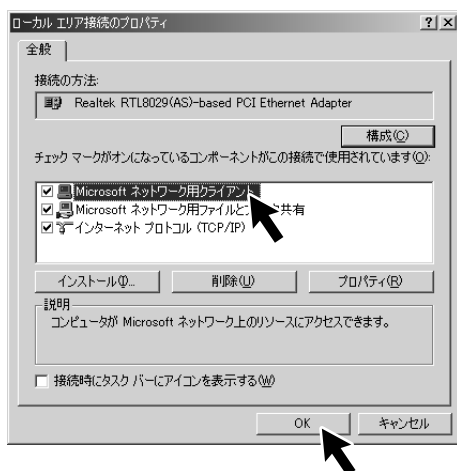
「ネットワークプロトコルの選択」が表示されます。



7

【インターネットプロトコル (TCP/IP)】を選択し、【OK】をクリックする

TCP/IPプロトコルがインストールされます。

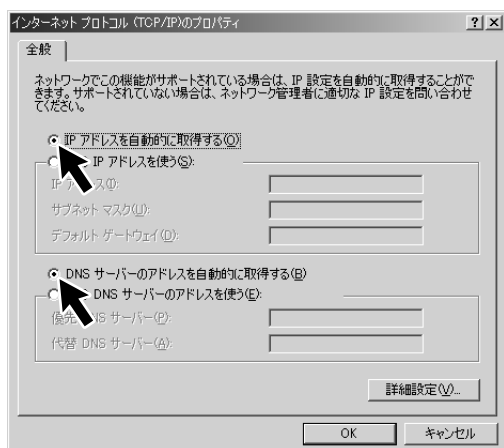


TCP/IPの設定を行う

1 [インターネットプロトコル (TCP/IP)] を選択し、[プロパティ] をクリックする



2 [IPアドレスを自動的に取得する] と [DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する] をクリックする



3 「[詳細設定]」をクリックする

「TCP/IP詳細設定」が表示されます。



4 「IPアドレス」に「DHCP有効」、「デフォルトゲートウェイ」は空欄になっていることを確認する

5 「[OK]」をクリックする

「インターネットプロトコル (TCP/IP) のプロパティ」に戻ります。

6 「[OK]」をクリックする

「ローカルエリア接続のプロパティ」に戻ります。

7 「[OK]」をクリックする

■Windows® Meの設定

主装置の設定を行う前に必要に応じてお使いのパソコンで次のような操作を行ってください。

パソコンを起動する

パソコンの電源を入れ、起動します。デスクトップ画面の表示になります。

LANカード／ボードの設定を行う

すでにLANカード／ボードを使用している場合は、「TCP/IPのインストール」へ進んでください。

1

「スタート」をクリックして、「設定」 — 「コントロールパネル」をクリックする
「コントロールパネル」が表示されます。

2

「ハードウェアの追加」をダブルクリックする

「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されます。



3

画面に表示される指示に従って、LANカード／ボードの設定をする



お知らせ

- お使いのLANカード／ボードの取扱説明書を参照し、指示に従って選択してください。

TCP/IPのインストールを行う

1 「コントロールパネル」で「ネットワーク」をダブルクリックする

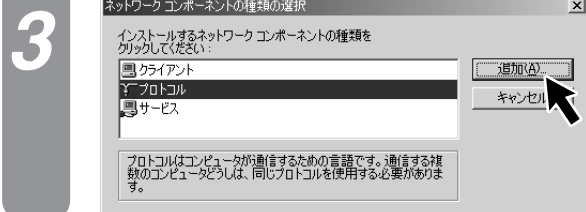
2
行話 |
う機 P
の多
設機
定能
を電

2 「ネットワーク」で「ネットワークの設定」をクリックする

3
設電
定話
を行機
能の
うの

「追加」をクリックする

「ネットワークコンポーネントの種類の選択」が表示されます。

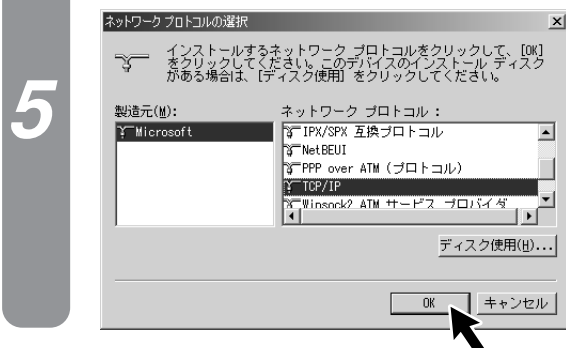
4
設ル
定ー
を行タ
う機
能の

4 「インストールするネットワークコンポーネント」の「プロトコル」を選択して「追加」をクリックする

「ネットワークプロトコルの選択」が表示されます。

5
主
装
置
の
運
用

「製造元」から「Microsoft」、「ネットワークプロトコル」から「TCP/IP」を選択して「OK」をクリックする

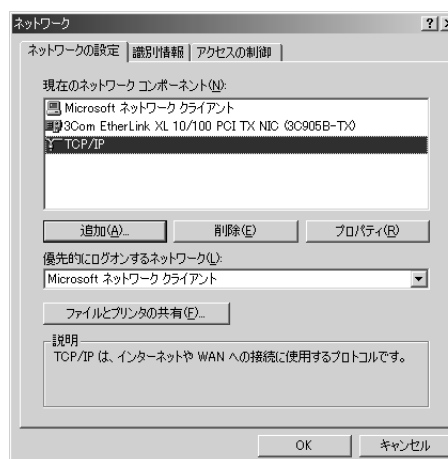
6
ご
参
考
に

TCP/IPの設定を行う

「ネットワーク」で【ネットワークの設定】をクリックする

「ネットワーク」が表示されます。

1



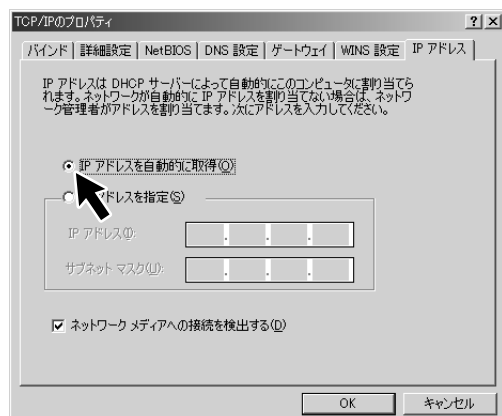
2

「現在のネットワークコンポーネント」から【TCP/IP】をクリックし、【プロパティ】をクリックする

「TCP/IPのプロパティ」が表示されます。

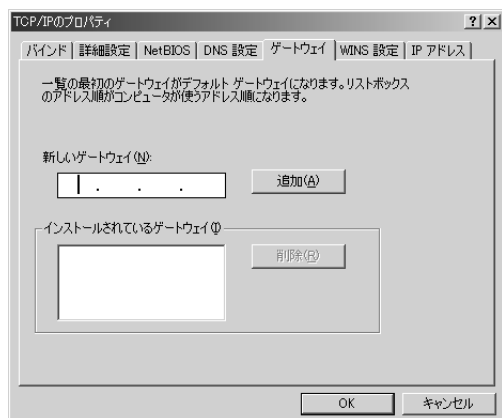
3

【IPアドレス】をクリックし、【IPアドレスを自動的に取得】をクリックする



4

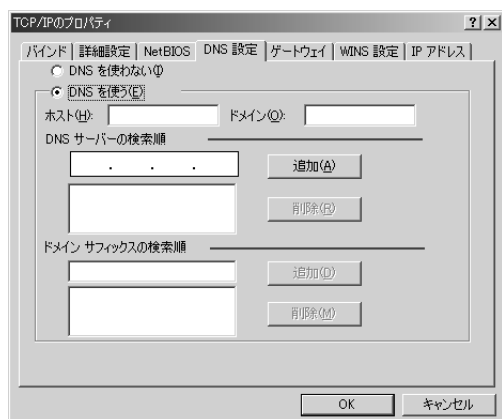
【ゲートウェイ】をクリックし、「インストールされているゲートウェイ」に値が設定されている場合は削除する



5

【DNS設定】をクリックし、【DNSを使う】をクリックして、お使いのパソコンの「ホスト名」を入力する

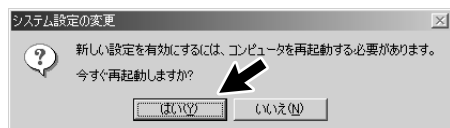
「DNSサーバーの検索順」に値が設定されている場合は削除します。
「ホスト名」は何を設定してもかまいません。適当な名前を入力してください。



6

【OK】をクリックする

次のメッセージが表示されたら、【はい】をクリックして、パソコンを再起動してください。



Macintosh

■必要な準備

データ設定を利用して、電話とインターネットの設定を行う場合には、パソコン側で以下の準備が必要です。

| Macintosh | | |
|----------------------|---|--|
| LANカード／ボード | パソコンに装着されていることが必要です。お使いのパソコンに適するLANカード／ボードをご用意ください。 | |
| Webブラウザ | 市販品やフリーウェアなどをご用意ください。 主装置の設定を行う場合には、次のWebブラウザを推奨します。 <ul style="list-style-type: none"> • Microsoft Internet Explorer 5.1.6 for Mac 以上 • Netscape Navigator 6以上 | |
| TCP/IPソフトウェア | 漢字Talk7.1をご利用の場合 | [MacTCP] をご用意ください。 |
| | 漢字Talk7.5および漢字Talk7.5.1をご利用の場合 | 漢字Talkに付属の「MacTCP」をご用意ください。 |
| | 漢字Talk7.5.2および漢字Talk7.6.1以降をご利用の場合 | 漢字Talkに付属の「MacTCP」または「Open Transport」をご用意ください。 |
| | MacOS9、およびMacOS X以降をご利用の場合 | TCP/IPソフトウェアは標準でご利用になれます。 |
| LANケーブル | 主装置とパソコン、またはHUBを接続するときに必要です。 | |
| インターネットサービスプロバイダとの契約 | インターネット接続を行う場合、インターネットにアクセスするサービスを提供するプロバイダとの契約が必要です。 | |



お知らせ

- ここでの説明は、一例を示しています。詳細は、ソフトウェアメーカー、パソコンメーカー、LANカード／ボードメーカー、インターネットサービスプロバイダなどにお問い合わせください。
- TCP/IPプロトコルおよびLANカード／ボードのソフトウェア（ネットワークドライバ）のインストールには、MacintoshのCD-ROMまたは、フロッピーディスクが必要になる場合があります。

■Macintosh

主装置の設定を行う前に必要に応じてお使いのパソコンで次のような操作を行ってください。

Macintoshを起動する

Macintoshの電源を入れ、起動します。

TCP/IPソフトウェアのインストールを行う

LANボードを新規に購入したときは、専用の機能拡張書類が付属している場合があります。

LANボードの取扱説明書に従って、システムフォルダ内の機能拡張フォルダにコピーしてください。

MacTCPとOpentransportは、ともにインストールドキュメントに従ってシステムフォルダにインストールしてください。漢字Talk7.5以降、およびMacOS9、X以降をご利用の場合は、通常はすでにインストールされていますので、インストールは不要です。MacTCPおよびOpenTransportをインストールした場合は、Macintoshを再起動してください。



お知らせ

- MacTCPおよびOpenTransportはなるべく新しいバージョンをご用意ください。新しいバージョンのソフトウェアはftpサイトなどで入手してください。

TCP/IPの設定を行う

■MacOS Xの場合

MacOS Xをお使いの場合は、DHCP機能をご利用ください。

1

アップルマークをクリックし、アップルメニューから【システム環境設定...】を選択する

「システム環境設定」が表示されます。

(次ページへつづく)

(前ページのつづき)

2 「ネットワーク」をクリックする

「ネットワーク」が表示されます。

**3 「表示：」で「内蔵Ethernet」を選択する****4 「TCP/IP」をクリックし、「設定：」で「DHCPサーバを参照」を選択する****5 「今すぐ適用」をクリックする**

システム設定が変更できないように設定されている場合、パスワードの入力画面が表示されます。パスワードを入力して設定を変更してください。

6 「ネットワーク」を閉じる

Macintoshを再起動する必要はありません。

数字

- 10BASE-T**……………IEEE802.3で規格されたもので、イーサネット（CSMA/CD）LANでデータ転送速度が10 Mbps、伝送媒体としてツイストペアケーブル（通常、LAN機器とHUBを接続するような場合に使用されるケーブル）を用います。
- 100BASE-TX**……………IEEE802で規格された高速LANの1つで、LANでデータ速度が100 Mbps、伝送媒体としてツイストペアケーブル（通常、LAN機器とHUBを接続するような場合に使用されるケーブル）を用います。

アルファベット

- ADSL**……………従来使用している一般加入電話回線を利用して、インターネットの常時接続環境を提供する方式です。音声通話で使われていない周波数帯域を利用するので、現在使用している1本の電話回線で、電話とインターネットの両方を同時に利用することができます。通信方向（上り／下り）によって、速度が異なる特徴があります。
- ARP (Address resolution protocol)** ……
ARPは、特定のIPアドレスを持っているホストのMACアドレスを検索するためのプロトコルです。
- ARPテーブル**……………ARPにより検索されたIPアドレスとMACアドレスの対応テーブルです。
- ASCII文字**……………米国規格協会（ANSI）が制定した標準符号。ASCIIは7ビットで構成され、制御文字、特殊文字、数字、英大・小文字の128種類の文字を表現します。
- Bフレッツ**……………接続回線に光ファイバを利用したベストエフォート型の通信サービスです。最大100 Mbpsまたは最大10 Mbpsの高速インターネット接続が可能です。
- CHAP (Challenge Authentication Protocol)** ……
PAPと同様に認証を行うプロトコルですが、パスワードを通知するときにパスワードを暗号化して送ることによってパスワードの盗聴を防ぐため、よりセキュリティが高いプロトコルです。
- DNS (Domain Name System)** ……
DNSは、ネットワークのIPアドレスとドメイン名を解決するためのシステムで、ドメイン名から対応するIPアドレスへの変換／逆変換を行います。
- DSU (Digital Service Unit)** ……INSネット64回線などのデジタル回線の終端装置。NTT側の伝送路と機器間の信号の変換や接続を行います。
- HUB**……………HUBはLANに接続させる中継器としての役割を持ち、複数のLANを収容することによりネットワークを構築することができます。また、HUBはRJ45のポートを複数収容し、ネットワーク機器とスター型で接続します。
- INSネット64回線**……………INSネット64回線サービスの中で、1回線で情報チャネル（B）2本、信号チャネル（D）1本を同時に利用できるサービスです。
- IPアドレス**……………TCP/IPで通信をする場合に、ネットワーク上の機器を特定するために使用される番号を指します。IPアドレスは、4バイトのデータからなり、インターネットに接続中のすべての機器に個別のIPアドレスが割り当てられています。

（次ページへつづく）

（前ページのつづき）

- IPプロトコル** …………… 取扱説明書で使用しているIPプロトコルまたはIPプロトコルタイプは、IPに関連するパケットの総称として使用しています。特にプロトコルとして存在するわけではありません。
- IPマスカレード** …………… IPアドレス変換方式の一つで、ローカルネットワークに接続された複数の端末のIPアドレスを、1つのグローバルIPアドレスに変換することにより、複数の端末からインターネットへ接続することができます。また、IPアドレスの変換を行うことで、ローカルネットワークを外部から隠蔽することができるため、セキュリティ効果が得られます。
- IP電話（Internet Protocol Phone）サービス** ……
電話をかける相手の方との間の通信経路をインターネットで使用しているIPプロトコルベースで構築した電話ネットワークのことです。
- MACアドレス** …………… MACアドレスは、イーサネットに接続時に使用される物理的なアドレスで、データ通信時に送信先／送信元アドレスで使用されるものです。MACアドレスとイーサネットアドレスは同義語です。
MACアドレスは6バイトからなり、各LAN端末ごとにユニークな値が割り当てられます。（MACアドレスは、LANのインタフェースに世界で1つ割り当てられる番号です。また、変更も不可能です。）
- NAT（The IP Network Address Translator）** ……
NATは、RFC1631で提案されているIPアドレスの変換方式で、インターネットなどで使用するグローバルなIPアドレスとローカルなIPアドレスを変換する方式について記載されています。
- PAP（Password Authentication Protocol）** ……
パスワード認証プロトコルで、ネットワークアクセス時にパスワードにより認証を行い、不正なアクセスを防ぐためのプロトコルです。
- PING** …………… PINGとはIPアドレスを持つ相手の装置が現在ネットワークで接続されているかを確認するためのコマンドを指します。PINGコマンドではICMPのエコー要求／応答機能を利用して相手を確認します。
- PPP（Point to Point Protocol<RFC1661>）** ……
公衆網などのシリアル回線においてデータ転送を行う場合の標準化プロトコルです。
- PPPoE（PPP over Ethernet<RFC2516>）** ……
PPPoEはEthernet上でPPPパケットによる通信を行うためのプロトコルです。PPPoEはADSLによるインターネット接続サービスで使用されます。
- PPPoEブリッジ** …………… ルータやモデムに接続されているパソコンからPPPoEプロトコルで直接インターネットに接続し、パソコンにグローバルIPアドレスを取得することができる機能のことです。
- ProxyDNS** …………… ネットワーク端末からのDNS問い合わせをDNSサーバへ中継します。また中継されたデータのキャッシュを行うことで、DNS問い合わせに対して代理で応答することができます。

RFC (Request for Comments)

IETF (Internet Engineering Task Force) がとりまとめている文章のことを指し、TCP/IPやPPPなどの規格としても知られています。

RIP (Routing Information Protocol)

IPに関するルーティングテーブルをルータ間でやりとりするプロトコルです。このプロトコルを使用することにより、ルータ間でルーティング情報を更新し、更新したテーブルにもとづき、ルーティングを行います。

SIP (Session Initiation Protocol)

VoIPを応用したIP電話などで用いられる通信制御プロトコルのことです。

TCPヘッダ圧縮 Van JacobsonがRFC 1144にて提案したTCP/IP圧縮アルゴリズムです。**UPnP (Universal Plug and Play)**

パソコンや周辺機器、家電製品などを簡単に接続して、便利に使えるようにしようという規格のひとつです。

もともとマイクロソフト社が提唱したもので、現在は「Universal Plug and Play フォーラム」という団体が規格作りを進めています。

VoIP (Voice over IP) インターネットやイントラネットなどのIPネットワークに音声を送る技術のことです。**五十音****【ア行】**

空き外線 使用していない外線で、発信・着信できる外線のことです。

イーサネット 1970年代に米国ゼロックス社が開発し、現在では代表的なLANの規格の一つです。インターネットの標準化組織であるIEEE 802委員会が標準化した802.3CSMA/CDとイーサネットとは同義語として扱われることがあります。

イーサネットタイプ イーサネットフレームにおける2バイトのデータで、上位レイヤのプロトコル種別を指します。

例) Internet Protocol (IP) = 0800、AppleTalk over Ethernet = 809B、Novell NetWare IPX = 8137

インターネット インターネットとは、世界150か国以上にまたがり企業や学術施設、商用ネットワークなどを相互に結んだ世界最大のネットワークです。

インターネットサービスプロバイダ

インターネットサービスプロバイダとは、インターネットへの接続を有償で提供する接続サービス事業者です。

オートクロス 主装置のHUBポートは、UTPケーブルのストレート／クロス結線や対向側が、MDIポートに接続されようとMDI-Xポートに接続されようと、"AutoCross技術"によって必要なポート極性を自動的に認識して設定されます。

オフフック ハンドセットを取りあげることです。

(次ページへつづく)

（前ページのつづき）

オンフック ……………ハンドセットを置くことです。

オンフックダイヤル ……………ハンドセットを置いたまま、スピーカボタンを押し、ダイヤルボタンを押すことです。

【カ行】

外線捕捉 ……………「ツー」という外線発信音が聞こえる状態を外線捕捉の状態といいます。
この状態のときに外へ電話をかけることができます。

キーパッド ……………INSネット64回線に送出するデータのことで。

【サ行】

サービスクラス ……………外線発信の規制や許可などのサービスを電話機ごとに設定するクラスのことで。

再ダイヤル ……………電話機から過去にかけた相手の電話番号を読み出し、発信することです。

サブアドレス ……………INSネット64回線を利用するときに、補助的に使用する内線番号のことで。

事業所コードレス電話機 ……………自営標準プロトコルを採用している特定のPHS対応電話機（デジタルコードレス電話機）のことで。

シフトJIS（シフトJISコード） ……漢字コードを表すコード体系の一つで、MS-DOS、Windows®、OS/2など、多くのパソコンOSに採用されています。

スピーカ受話 ……………スピーカで相手の声を聞くことです。

スプリッタ ……………フレッツ・ADSLなどで電話サービスとデータ通信を共用するときに必要な機器のひとつです。
スプリッタは電話サービスで使用する周波数とデータ通信で使用する周波数を分けたり重ねたりします。

静的IPマスカレード ……………静的IPマスカレードとは、IPアドレス変換機能を利用時に、ポート番号から接続するローカルネットワーク端末へ任意に割り付けを行う機能です。この場合、指定されたポート番号のIPパケットは、すべて対応するローカルネットワーク端末へ転送されます。

【タ行】

ターミナルアダプタ（TA） ……ターミナルアダプタは、INSネット64回線を使用しシリアルインタフェースなどを備えた通信機器で、データや信号フォーマットの変更を行い、データ通信を行う機器です。一般にRS-232Cインタフェースを備えたものであれば、電話回線に接続したモデム用に使用することができます。

ダイヤルインサービス ……………外線から直接内線電話機を呼び出すサービスです。

代理応答 ……………他の端末への着信に応答できる機能のことで。

着信音 ……………電話がかかってきたときに鳴る呼出音のことで。

DNSルーティング ……………ドメイン名により問合せるDNSサーバを選択する機能のことで。

内線ホットライン ……電話機の外線ボタンに内線番号を設定し、外線ボタンを押すことによりワンタッチで内線電話機を呼び出すことです。

ネットマスク ……ネットマスクは、IPアドレスのネットワーク部分を識別するためのマスクを表し、IPアドレスの先頭ビットからのビット数をネットワーク部分と判断します。また取扱説明書では、フィルタリングなどで受信したIPアドレスを比較するビットとしてネットマスクを使用している場合もあります。

【ハ行】

バージョンアップ ……最新のプログラムをダウンロードすることにより、最新の機能をご利用になれます。詳しくは、P85を参照してください。

ハンズフリー ……ハンドセットを使わないで、内蔵マイクによりお話しができる状態のことです。ハンズフリー応答、ハンズフリー通話などがあります。

フィルタリング ……送信／受信されるパケットの内容を判断し、パケットを通過させる／破棄するを決定することです。

フォワード ……送受信するパケットを通過させることを指します。

プリセットダイヤル ……オンフック状態でダイヤルしたあとに、外線捕捉または内線捕捉をして発信する機能のことです。

フレッツ・ADSL ……現在お使いの加入電話回線で高速なインターネット接続を提供するサービスです。「下り」通信には、ベストエフォート型での接続が可能です。フレッツ・ADSLのサービスには、既設の加入電話回線を利用する場合と、フレッツ・ADSL専用の回線を新設する場合があります、ご利用形態に合わせて選択することができます。

フレッツ・グループ
フレッツ・グループアクセス ……フレッツ・シリーズ（フレッツ・ADSL、フレッツ・ISDN、Bフレッツ）ご契約者間でグループを構成することにより、グループ内でのIP通信を可能にするサービスです。フレッツ・シリーズのご契約者間でプライベートネットワークの構築が可能となります。

プロトコルタイプ ……取扱説明書で使用しているプロトコルタイプという言葉は、IPやNetWare、AppleTalkなどの各プロトコルの種別を表しています。

【マ行】

モデムダイヤルインサービス ……電話番号をモデム信号方式で受信するダイヤルインサービスです。

【ヤ行】

呼出状態転送 ……通話中に相手を保留し、転送先の相手呼び出したときに、相手が応答する前に転送することです。

アルファベット

| | |
|-----------------------------------|----|
| FTPサービスの利用ホスト制限設定 | 60 |
| IPアドレス指定 | 61 |
| 利用を許可するホスト | 61 |
| HTTPサービスの利用ホスト制限設定 | 58 |
| IPアドレス指定 | 59 |
| 利用を許可するホスト | 59 |
| IPパケットフィルタリング設定 | 55 |
| AND/OR | 57 |
| TCPフラグ | 57 |
| インタフェース選択 | 56 |
| プロトコル | 57 |
| ログ | 57 |
| 送信先設定、送信元設定 | 57 |
| 適用インタフェース選択 | 57 |
| 動作 | 57 |
| 方向 | 57 |
| IP多機能電話機設定メニュー一覧 | 14 |
| IP多機能電話機 設定メニュー一覧① | 14 |
| IP多機能電話機 設定メニュー一覧② | 16 |
| LAN設定 | 35 |
| DHCPサーバ機能 | 38 |
| DHCPサーバ設定 | 38 |
| DHCP割付テーブル | 39 |
| GWのIPアドレス | 37 |
| IPアドレス | 37 |
| LANアドレス設定 | 37 |
| デフォルトゲートウェイ | 38 |
| ネットマスク | 37 |
| リース時間 | 38 |
| 通知DNSアドレス | 39 |
| 通知WINSサーバ | 39 |
| 割付IPアドレス範囲 | 38 |
| NATとIPマスカレード設定 | 47 |
| IPアドレス | 50 |
| PPPoE接続 1～5 | 49 |
| アドレス変換設定 PPPoE接続 1～5 / 固定IP | 49 |
| プロトコル | 50 |
| ポート | 50 |
| 固定IP | 49 |
| Macintosh | 97 |
| UPnP設定 | 62 |

| | |
|-------------------------|----|
| WAN接続設定 | 40 |
| DNSサーバアドレス | 43 |
| DNSルーティング設定 | 46 |
| MTU設定 | 43 |
| PPPoE | 40 |
| PPPoEによる接続設定を行うには | 42 |
| Unnumbered指定 | 43 |
| セカンダリDNSサーバアドレス | 43 |
| デフォルトゲートウェイ指定 | 43 |
| プライマリDNSサーバアドレス | 43 |
| ホストテーブル | 46 |
| 固定IPアドレス | 40 |
| 自動接続 | 43 |
| 問合せ先サーバ設定 | 46 |

Windows®

| | |
|---------------------|----|
| Windows® 2000 | 87 |
| Windows® Me | 92 |

五十音

【ア行】

| | |
|-------------------|----|
| オフフック外線自動捕捉 | 20 |
|-------------------|----|

【カ行】

| | |
|----------------|----|
| キータッチトーン | 20 |
| 切替開始時間 | 26 |
| コールバック番号 | 27 |

【サ行】

| | |
|---------------------------|----|
| サービスクラス | 19 |
| 削除ダイヤル設定 | 30 |
| 事業者識別番号自動付与 | 31 |
| 手動設定 | 34 |
| 主装置の運用方法について | 65 |
| ARPテーブルを表示する場合 | 82 |
| DHCP割り付け状態を表示する場合 | 82 |
| DNSキャッシュテーブルを表示する場合 | 81 |
| IPルーティング情報を表示する場合 | 81 |
| パケット統計情報を表示する場合 | 80 |
| ログ表示を表示する場合 | 81 |
| 接続先情報を表示する場合 | 80 |
| 例外転送 | 21 |

【タ行】

| | |
|-------------------------|----|
| 端末種別 | 20 |
| 着サブアドレスダイヤルイン | 21 |
| 着信通知メール | 20 |
| 着信通知メールアドレス | 20 |
| 長時間通話警報送出 | 20 |
| 電話機能一覧 | 4 |
| その他 | 13 |
| ドアホン | 11 |
| ネットワークサービス (INSネット64回線) | 12 |
| ファクス | 12 |
| 着信・応答 | 6 |
| 通話 | 8 |
| 発信 | 4 |
| 表示 | 10 |
| 保留・転送 | 9 |
| 問合せNTPサーバアドレス | 34 |
| 問合せ間隔 | 34 |

【ナ行】

| | |
|--------|----|
| 内線呼出設定 | 19 |
|--------|----|

【ハ行】

| | |
|---------------|----|
| パスワード | 22 |
| パソコンの設定 | |
| Macintosh | 97 |
| MacOS X | 97 |
| Windows® 2000 | 87 |
| Windows® Me | 92 |
| 発サブアドレス通知 | 21 |
| 発信者番号通知 | 21 |
| 発信規制番号設定 | 29 |
| 発信許可番号設定 | 28 |
| 日付と時刻の設定 | 33 |
| ヘッドセット自動切断 | 20 |
| ヘッドセット接続 | 20 |
| 保留音選択 | 24 |

【マ行】

| | |
|--------------------------|----|
| 無線アクセスポイント／無線ステーションの接続状況 | 84 |
| メール通知設定 | 63 |
| POP before SMTP | 64 |
| メールアカウント | 64 |
| メールアカウントパスワード | 64 |

| | |
|--------------|----|
| メールアドレス | 64 |
| 送信メールサーバアドレス | 64 |
| モード切替設定 | 25 |

【ヤ行】

| | |
|-------------|----|
| 用語の説明 (総合編) | 99 |
|-------------|----|

【ラ行】

| | |
|--------------|----|
| ルーティング | 51 |
| IPアドレス | 53 |
| RIP設定 | 53 |
| スタティックルート設定 | 53 |
| ダイナミックルーティング | 53 |
| デフォルトルート設定 | 52 |
| ホップ数 | 53 |
| ポリシールーティング設定 | 54 |
| ルーティング情報送出 | 53 |
| 経路先 | 53 |
| 経路先IPアドレス | 53 |
| 経路先設定 | 54 |
| 送信先アドレス | 54 |
| 送信元アドレス | 54 |
| 送信先ポート番号 | 54 |

搭載されているソフトウェアの著作権と使用許諾に関する情報

(1) Linux and GNU Software

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2, June 1991

Copyright (C) 1989, 1991 Free Software Foundation, Inc.

59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change free software—to make sure the software is free for all its users. This General Public License applies to most of the Free Software Foundation's software and to any other program whose authors commit to using it. (Some other Free Software Foundation software is covered by the GNU Library General Public License instead.) You can apply it to your programs, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the software, or if you modify it.

For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that you have. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with two steps: (1) copyright the software, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the software.

Also, for each author's protection and ours, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free software. If the software is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.

Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that redistributors of a free program will individually obtain patent licenses, in effect making the program proprietary. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's

free use or not licensed at all.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License applies to any program or other work which contains a notice placed by the copyright holder saying it may be distributed under the terms of this General Public License. The "Program", below, refers to any such program or work, and a "work based on the Program" means either the Program or any derivative work under copyright law:

that is to say, a work containing the Program or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".) Each licensee is addressed as "you".

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running the Program is not restricted, and the output from the Program is covered only if its contents constitute a work based on the Program (independent of having been made by running the Program).

Whether that is true depends on what the Program does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and give any other recipients of the Program a copy of this License along with the Program.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Program or any portion of it, thus forming a work based on the Program, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

a) You must cause the modified files to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.

b) You must cause any work that you distribute or publish, that in whole or in part contains or is derived from the Program or any part thereof, to be licensed as a whole at no charge to all third parties under the terms of this License.

c) If the modified program normally reads commands interactively when run, you must cause it, when started running for such interactive use in the most ordinary way, to print or display an announcement including an appropriate copyright notice and a notice that there is no warranty (or else, saying that you provide a warranty) and that users may redistribute the program under these conditions, and telling the user how to view a copy of this License.

(Exception: if the Program itself is interactive but does not normally print such an announcement, your work based on the Program is not required to print an announcement.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Program, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Program, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Program.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Program with the Program (or with a work based on the Program) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may copy and distribute the Program (or a work based on it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you also do one of the following:

a) Accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,

b) Accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any third party, for a charge no more than your cost of physically performing source distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code, to be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,

c) Accompany it with the information you received as to the offer to distribute corresponding source code. (This alternative is allowed only for noncommercial distribution and only if you received the program in object code or executable form with such an offer, in accord with Subsection b above.)

The source code for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For an executable work, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the executable. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

If distribution of executable or object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place counts as distribution of the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

4. You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Program except as

expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense or distribute the Program is void, and will automatically terminate your rights under this License.

However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

5. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Program or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Program (or any work based on the Program), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Program or works based on it.

6. Each time you redistribute the Program (or any work based on the Program), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute or modify the Program subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.

7. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Program at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Program by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Program.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system, which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

8. If the distribution and/or use of the Program is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Program under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

9. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be

similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of this License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

10. If you wish to incorporate parts of the Program into other free programs whose distribution conditions are different, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

11. BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

12. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Programs

If you develop a new program, and you want it to be of the greatest possible use to the public, the best way to achieve this is to make it free software which everyone can redistribute and change under these terms.

To do so, attach the following notices to the program. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the program's name and a brief idea of what it does.>
Copyright (C) <year> <name of author>

This program is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.

This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU General Public License along with this program; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

If the program is interactive, make it output a short notice like this when it starts in an interactive mode:

Gnomovision version 69, Copyright (C) year name of author Gnomovision comes with ABSOLUTELY NO WARRANTY; for details type `show w'. This is free software, and you are welcome to redistribute it under certain conditions; type `show c' for details.

The hypothetical commands `show w' and `show c' should show the appropriate parts of the General Public License. Of course, the commands you use may be called something other than `show w' and `show c'; they could even be mouse-clicks or menu items—whatever suits your program.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the program, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the program 'Gnomovision' (which makes passes at compilers) written by James Hacker.

<signature of Ty Coon>, 1 April 1989 Ty Coon, President of Vice

This General Public License does not permit incorporating your program into proprietary programs. If your program is a subroutine library, you may consider it more useful to permit linking proprietary applications with the library. If this is what you want to do, use the GNU Library General Public License instead of this License.

(2) PostgreSQL

PostgreSQL Data Base Management System (formerly known as Postgres, then as Postgres95).

Portions Copyright (c) 1996-2000, PostgreSQL, Inc
Portions Copyright (c) 1994 Regents of the University of California

Permission to use, copy, modify, and distribute this software and its documentation for any purpose, without fee, and without a written agreement is hereby granted, provided that the above copyright notice and this paragraph and the following two paragraphs appear in all copies.

IN NO EVENT SHALL THE UNIVERSITY OF CALIFORNIA BE LIABLE TO

ANY PARTY FOR DIRECT, INDIRECT, SPECIAL, INCIDENTAL, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES, INCLUDING LOST PROFITS, ARISING OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE AND ITS DOCUMENTATION, EVEN IF THE UNIVERSITY OF CALIFORNIA HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

THE UNIVERSITY OF CALIFORNIA SPECIFICALLY DISCLAIMS ANY WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE SOFTWARE PROVIDED HEREUNDER IS ON AN "AS IS" BASIS, AND THE UNIVERSITY OF CALIFORNIA HAS NO OBLIGATIONS TO PROVIDE MAINTENANCE, SUPPORT, UPDATES, ENHANCEMENTS, OR MODIFICATIONS.

(3)Apache

The Apache Software License, Version 1.1
Copyright (c) 2000-2003 The Apache Software Foundation. All rights reserved.

This product includes software developed by the
Apache Software Foundation (<http://www.apache.org/>).

(4)PHP

The PHP License, version 3.0
Copyright (c) 1999 - 2002 The PHP Group. All rights reserved.

This product includes PHP, freely available from <<http://www.php.net/>>

当社ホームページでは、各種商品の最新の情報やバージョンアップサービスなどを提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをおすすめします。

当社ホームページ：<http://www.ntt-east.co.jp/ced/>
<http://www.ntt-west.co.jp/kiki/>

使い方等でご不明の点がございましたら、NTT通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

NTT通信機器お取扱相談センタ

■NTT 東日本エリア（新潟県・長野県・山梨県・神奈川県以东の各都道府県）でご利用のお客様
お問い合わせ先： 0120-970413

■NTT 西日本エリア（富山県・岐阜県・愛知県・静岡県以西の各府県）でご利用のお客様
お問い合わせ先： 0120-109217

電話番号をお間違えにならないように、ご注意願います。

©2004 NTTEAST・NTTWEST



本2566-2(2004.9)
VP-トリセツ-＜1＞